

1
一般
共通
事項

30

火災保険等

契約書第58条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。
(1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
(2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
(3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額
(4) 被保険者 発注者、請負者及びその全下請負人

31

技術検査
(1.6.2)

中間技術検査
実施回数 () 回
実施する段階 ()

32

施工の検査等
(1.5.5)

見本施工
・実施する（施工箇所：)

33

屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、三重県屋外広告物条例第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

34

社会保険等
未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿により、下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。
また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

35

現場での安全確保（自主施工の原則）

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督職員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

2

仮設
工事

1

監督職員事務所(2.3.1)

・設置する。
監督職員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2

監督職員事務所
の設備・備品等
(2.3.1)

種類				
・ 机、いす	・ 書棚	・ ホワイトボード		
・ 長靴	・ 雨合羽	・ 保護帽		
・ 衣類ロッカー	・ 冷暖房機器	・ インターネット		
・ ()	・ ()	・ ()		

数量については、監督職員との協議による。

監督職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

3

仮設便所

構内既存の施設 () 利用できる () 利用できない

4

工事用水

構内既存の施設
() 利用できる () 有償 () 無償 () 協議による

3

土
工
事

5

工事用電力

構内既存の施設
() 利用できる () 有償 () 無償 () 協議による
本工事で新規受電し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

6

足場等
(2.2.4)

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。
高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。

3

土
工
事

1

埋戻し及び盛土
(3.2.3)(表3.2.1)

種 別 () A種 () B種 () C種 (他現場の建設発生土) () D種 (再生コンクリート砂)

2

建設発生土
の処理
(3.2.5)

建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないように、関係法令等に基づき適正に処理すること。
() 現場内利用できる () 仮置き場所 () () 運搬距離 () km
() 現場内利用できない
() 受入地指定 () 受入地の条件
() 受入先、利用種別、施工条件、特定条件等（図面番号：)
() 運搬距離 () km
() 受入料金あり () 受入料金なし
() 受入地未定につき別途協議する。 () 暫定運搬距離 () km

3

山留めの撤去

山留め壁等 () 撤去 () 存置

4

地
業
工
事

1

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

2

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督職員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督職員の確認を受けること。

3

施工記録の
代替

取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第32条第4項又は第5項（第39条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。
() 試験杭 () 位置、本数及び寸法 () 図示（図面番号：)
() 試験掘 () 位置、本数及び寸法 () 図示（図面番号：)

5

試験杭及び
試験掘
(4.2.2)

() 試験杭 () 位置、本数及び寸法 () 図示（図面番号：)
() 試験掘 () 位置、本数及び寸法 () 図示（図面番号：)

6

支持層

支持層の位置、土質 () (構造図書による)
() mm以下

7

水平方向の
位置ずれ
(4.3.4)
(4.5.5)

() mm以下

8

杭の載荷試験
(4.2.3)

試験方法 () 鉛直載荷 () 水平載荷 () ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数 () 図示（図面番号：) 載荷荷重 () kN
報告書 () 提出部数 2部
() 記載事項 ()

9

地盤の載荷
試験
(4.2.4)

試験方法 () 平板載荷 () ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 () 図示（図面番号：) 載荷荷重 () kN
報告書 () 提出部数 2部
() 記載事項 ()

10

既製コンクリ
杭地業
(4.3.1)
(表4.3.1)
(4.3.3)
(4.3.4)
(4.3.8)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	設計 耐力(kN/本)	備考

先端形状 () 開放型 () 閉そく型
施工方法
() セメントミルク工法
() オーガーの支持層への掘削深さ () () m () 図示（図面番号：)
() 杭の支持層への根入れ深さ () () m () 図示（図面番号：)
() 根固め液及び杭周固定液の管理試験 () 標準仕様書[4.3.4(6)(a)～(g)] () ()
() 特定埋込杭工法
() 杭の根入れ深さ () () m () 図示（図面番号：)
継手 () アーク溶接 () 機械式継手
杭頭処理の方法 () 外圧方式 () ガス切斷 () カッター方式 () ()
() 特定埋込杭工法
() 杭の根入れ深さ () () m () 図示（図面番号：)
杭頭処理の方法 () ガス切斷 () ()

11

鋼杭地業
(4.4.3)
(4.4.4)
(4.4.5)
(4.4.6)
(4.3.5)
(4.3.8)
(7.2.5)

鋼管杭	SKK400	SKK490
H形鋼杭	SHK400	SHK490M

径 () φ300 () φ350 () φ400 () φ450 () φ ()
長さ () m
継手の工法 () 現場溶接 () 機械式継手
溶接材料 () 標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外 ()
() 特定埋込杭工法
() 杭の根入れ深さ () () m () 図示（図面番号：)
杭頭処理の方法 () ガス切斷 () ()

12

場所打ち
コンクリート
杭地業
(4.5.1)
(4.5.4)
(4.5.5)
(4.5.6)
(表4.5.1)

施工方法
() アースドリル工法 () リバース工法
() オールケーシング工法 () 鋼管コンクリート杭工法
() 掘削 () 行わない () 行う ()
杭の根入れ深さ () () m () 図示（図面番号：)
孔壁の超音波測定 () 行う () 行わない
帯筋の加工及び組立 () 図示（図面番号：)
鉄筋の最小かぶり厚さ () mm
鉄筋かごの補強 () 図示（図面番号：)
継手 () 重ね継手 () ()
コンクリートの種別 () A種 () B種
設計基準強度 () N/mm²
セメントの種類 () 高炉セメントB種 () ()
スランブ (cm) () 21 () ()
構造体強度補正値 (S) () 3N/mm² () ()
鋼管部分の材料 () ()

13

地盤改良
(4.7.1)
～(4.7.4)
(4.8.1)
～(4.8.4)

・ 深層混合処理工法	固化材の種類 () ()	方式 () 機械攪拌方式 () ()
改良体の設計基準強度 (Fc) ()	改良体長さ() 改良率() 改良体幅()	・ 特殊な地盤等で試験施工を行う () 図示 () ()

・ 浅層混合処理工法	固化材の種類 () ()	方式 () 原位置混合方式 () ()
改良体の設計基準強度 (Fc) ()	改良対象土() 改良範囲() 改良厚さ()	

施工前の室内配合試験
対象とする地層 () 図示 () ()
() 軸圧縮試験 (JIS1216による) 供試体数 ()
() 六価クロム溶出試験
(「「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」の一部変更について」(平成13年4月20日 国官技第16号、国営建第1号)による)

14

砂及び砂利
地業
(4.6.2)
(4.6.3)

砂利 () 再生カラッシュラン () 切込砂利 () 切込砕石 () ()
() シルト () 山砂 () 川砂 () 砕砂 () ()
適用範囲（基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下）
厚さ () 60mm () () mm
() 仕上がりレベルを計測し、記録すること。
適用範囲（基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下）
厚さ () 50mm () () mm
施工範囲 () 範囲（基礎梁下、土に接するスラブ下）
() 仕上がりレベルを計測し、記録すること。
() 設計基準強度 (18N/mm) スランブ15cm又は18cm

15

滑コンクリ
地業
(4.6.4)

砂利 () 再生カラッシュラン () 切込砂利 () 切込砕石 () ()
() シルト () 山砂 () 川砂 () 砕砂 () ()
適用範囲（基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下）
厚さ () 60mm () () mm
() 仕上がりレベルを計測し、記録すること。
適用範囲（基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下）
厚さ () 50mm () () mm
施工範囲 () 範囲（基礎梁下、土に接するスラブ下）
() 仕上がりレベルを計測し、記録すること。
() 設計基準強度 (18N/mm) スランブ15cm又は18cm

5

鉄
筋
工
事

1

鉄筋の種類
(5.2.1)
(表5.2.1)

種類の記号	径	備 考
() SD295	・ D16以下	JIS G 3112
() SD345	・ D19	JIS G 3112
() SD345	・ D19以上	

() 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

2

溶接金網
(5.2.2)

鉄線の形状 () 丸鉄線 () 異形鉄線 () リブ () インデント)
鉄線の径 () 4mm () 5mm () 6mm () () mm
網目寸法 () 100×100mm () 150×150mm () () mm

3

内法直径
(5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径 () 図示（図面番号：)

4

継手・定着
(5.3.4)
(表5.3.2)
(表5.3.3)
(表5.3.4)
(図5.3.3)

	径	部 位
() 重ね継手	D10・D13・D16	耐力壁の鉄筋 その他の鉄筋(スラブ)
() ガス圧接	D19	柱・梁の主筋

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
() 標準仕様書[5.3.4](3)(7)後段 () 図示（図面番号： A15・A16）
継手位置
() 各部配筋参考図による () 図示（図面番号：)
() 隣り合う接手を同一か所に設ける場合（先組み工法等）
() 図示（図面番号：)
鉄筋定着
() 標準仕様書[表5.3.4] () 図示（図面番号：)
() 標準仕様書[図5.3.3] () 図示（図面番号：)
機械式定着工法の適用 () あり () なし
() 適用箇所（図面番号：) () 種類（図面番号：)

5

鉄筋のかぶり
厚さ及び間隔
(5.3.5)(表5.3.6)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ
() 標準仕様書[表5.3.6] () 図示（図面番号： A-15)

6

各部配筋
(5.3.7)

() 図示（図面番号： A17～20)

7

圧接完了後
の試験
(5.4.10)

抜取試験方法 () 超音波探傷試験 () 引張試験
引張試験方法 () 標準仕様書[5.4.10](4)(b) () ()

8

機械式継手
及び溶接継手
(5.5.3)
(5.5.5)
(5.6.3)
(5.6.5)

・ 機械式継手	適用箇所 () () 種類 () () 性能 () () 施工完了後の継手部の試験 () 試験項目 () ()、試験方法 () 不合格となった継手部への措置 () 鉄筋相互のあき () mm
・ 溶接継手	適用箇所 () () 工法 () () 性能 () () 施工完了後の溶接部の試験 () 試験項目 () ()、試験方法 () () 不合格となった溶接部への措置 () () 鉄筋相互のあき () mm

12木工事

1. 木材

(12. 2. 1)
(12. 4. 1)
(12. 5. 1)
(12. 6. 1)
(12. 7. 1)
(表12. 2. 1)

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

2. 製材

(12. 2. 1) (2) (7)

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・ 図示 (:)	・ 2級 ()			
造作用製材	・ 図示 (:)	・ 上小節以上 ・ 小節以上 ()			
広葉樹製材	・ 図示 (:)	・ 1級 ()	・ 10% 以下		

(12. 2. 1) (2) (4)
(表12. 2. 2)

「JAS 1083」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率

・ 図示 (図面番号 :)

造作材の材面の品質

・ A種 ()

樹種

部位	樹種	県産材

3. 集成材等

(12. 2. 1) (3)

造作用集成材

「JAS 1152」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号 :)	・ 1等 ()	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号 :)	・ 1等 ()	

「JAS 1152」以外の造作用集成材等

樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等

・ 図示 (図面番号 :)

4. 造作用単板積層材

(12. 2. 1) (4)

「JAS 0701」による造作用単板積層材

品名、寸法、表面の品質及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 :)

「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 :)

5. 直交集成材

(12. 2. 1) (5)

「JAS 3079」による直交集成材

品名、曲げ強度 (強度等級)、種別、接着性能 (使用環境)、樹種、寸法

・ 図示 (図面番号 :)

6. 合板等

(12. 2. 1) (6)

品名・樹種名・接着の程度・等級・板面の品質・防虫・保存処理等・厚さ

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ

構造用合板の強度等級

・ 図示 (図面番号 :)

特殊加工化粧合板の化粧加工方法

・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ()

パーティクルボード

表表面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号 :)

13屋根及びとい工事

7. 接合具等

(12. 2. 2)
(表12. 2. 3)
～ (表12. 2. 5)

造成材の化粧面の釘打ち

・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質

・ 図示 (図面番号 :)

8. 防腐・防蟻

・ 防虫処理

(12. 3. 1)

適用部材、保存処理性能区分

・ 図示 (図面番号 :)

薬剤の塗布等

処理方法

・ 薬剤の製造所の仕様 ()

附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理

薬剤の種類、適用部材

・ 図示 (図面番号 :)

薬剤の接着剤への混入 ()

合板等の加圧注入 ()

防虫処理 ()

9. RC造等の間仕切軸組及び床組

(12. 4. 1)

間仕切軸組に用いる木材

・ 杉 ・ 松 ()

床組に用いる木材 (土間スラブ 類の土台、転ばし大引、転ばし根太)

・ ひのき ・ 保存処理材 ()

床組に用いる木材 (上記以外)

・ 杉 ・ 松 ()

10. 窓、出入口等

(12. 5. 1)

床元枠、水掛りの下枠、敷居

・ ひのき ()

上記以外

・ 松 ・ 杉 ()

11. 床板張り

(12. 6. 1)

緑甲板、上がりがまち

・ ひのき ()

12. 壁及び天井下地

(12. 7. 1)

木材

・ 杉 ・ 松 ()

①長尺金属板葺

(13. 2. 2)
(13. 2. 3)
(表13. 2. 1)

屋根葺形式	材種	塗膜の耐久性	厚さ (mm)	葺板の寸法	めっき付着量
・ 立て平葺	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板		・ 0.4		

下葺の種類

・ アスファルト-フィング 940 ()

風圧力に対応した工法

屋根葺工法に応じた下地留め付け方法等

横葺のけらば

・ つかみ込み納め ・ けらば包み納め

2. 折板葺

(13. 3. 2)
(13. 3. 3)
(表13. 2. 1)

緊結方法	板厚 (mm)	山高 (mm)	山ピッチ (mm)	耐力区分
・ 重ね形	・ 0.8	・ 90	・ ()	・ ()
	・ 0.6	・ ()	・ ()	・ ()

材種

軒先面戸板

・ はぜ締め形

・ 塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 ()

・ なし

断熱材

種別

・ ガラス繊維シート ()

厚さ

・ 5mm () mm

防火性能

・ ()

風圧力に対応した工法

・ 図示 (図面番号 :)

積雪荷重に対応した工法

・ 図示 (図面番号 :)

けらば納め

・ けらば包み ()

3. 粘土瓦葺

(13. 4. 2)
(13. 4. 3)

製法	形状	寸法	産地	役物の種類	棟の工法

凍害試験

・ 行う ・ 行わない

雪止め瓦

・ 使用する

瓦棧木の材種、寸法

・ 杉 21×15 ()

棟補強用心材の材質、寸法

・ 杉 40×30 ()

瓦緊結用釘又はおじの種類、径、長さ

・ 図示 (図面番号 :)

棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法

・ 図示 (図面番号 :)

下葺材料の種類

・ ()

風圧力及び地震力に対応した工法

・ 図示 (図面番号 :)

瓦棧木の留付け工法

・ 図示 (図面番号 :)

棟の工法

・ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟 () のし積み棟

面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上

・ モルタル ・ 瓦葺用しっくい

14金属工事

④とい

(13. 5. 2)
(表13. 5. 1)
(表13. 5. 2)
(13. 5. 3)
(表13. 5. 4)

材種

・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 配管用鋼管 (白管) ()

表面処理鋼板の塗膜の種類

・ ()

耐酸被覆鋼板 材質等

・ ()

受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔

・ 図示 (図面番号 :)

軒どいの取付け間隔 (多雪地域)

・ 0.5m以下 ()

鋼管製といの防露巻工法

・ 標準仕様書 [表13. 5. 4] ()

1. アルミニウム

(14. 2. 1)
(表14. 2. 1)

表面処理の種類

・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1 ・ BA-2 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ C (常温乾燥形の塗装 ())

陽極酸化被膜の着色方法

・ 二次電解着色 ()

陽極酸化被膜の色合い等

・ ()

2. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14. 2. 2) (表14. 2. 2)

亜鉛めっきの種類

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種

3. 軽量鉄骨

天井下地

(14. 4. 2)

屋内

・ 19形 ()

屋外

・ 25形 ()

(表14. 4. 1)

屋外の野縁受等の間隔

・ 図示 (図面番号 :)

吊りボルトの補強方法 (@900mm超)

・ 図示 (図面番号 :)

(表14. 4. 2)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号 :)

・ 耐震天井 図示 (図面番号 :)

・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号 :)

4. 軽量鉄骨壁下地

(14. 5. 3)
(表14. 5. 1)
(14. 5. 4)

スタッド、ランナーの種類

・ 50型 ・ 65型 ・ 90型 ・ 100型 ・ スタッドの高さによる区分

・ 図示 (図面番号 :)

スタッドの高さ5m超

・ 図示 (図面番号 :)

出入口、開口部の補強

・ 標準仕様書 [14. 5. 4] (5) 後段 ()

5. 金属成形板張り

(14. 6. 2)
(14. 6. 3)

施工箇所		
種別	・ アルミニウム ・ ステンレス ・ 鋼	
形状	・ スパンドレル形 ・ パネル形	
表面処理		

取付け用下地

・ 図示 (図面番号 :)

長尺ものにおける伸縮調整継手

・ 設ける 図示 (図面番号 :)

6. アルミニウム製笠木

(14. 7. 2)
(14. 7. 3)
(表14. 7. 1)

部材の種類

・ 250形 ・ 300形 ・ 350形

表面処理

・ ()

固定方法

・ 図示 (図面番号 :)

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・ 図示 (図面番号 :)

7. 天井見切縁

材種

・ アルミニウム合金製 ・ 塩化ビニル製

8. 点検口

取付箇所	材種	寸法	形式
・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ
・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	

15左官工事

1. ラス系下地

(15. 2. 4)

通気構法 ・ 二層下地 ・ 単層下地

直張り工法 ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用プラス

材料記号	種類	質量 (kg/m ²)
・ K	・ ()	・ ()
・ ()		

ラスシート

山高 (mm)	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

外張断熱工法

・ 図示 (図面番号 :)

ステーブルの形状、寸法

・ 図示 (図面番号 :)

換気口部の措置

・ 標準仕様書 (木造) [1. 4. 3] (2) (カ) ()

耐力壁のラスシートの施工

・ 図示 (図面番号 :)

2. せっこうボード

その他のボード下地

(15. 2. 5)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 :) ()

木質系セメント板の種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 :) ()

3. こまい下地及び木ずり下地

(15. 2. 6)
(15. 2. 7)

耐力壁の指定

・ 図面 (図面番号 :)

木ずり用小幅板の樹種

・ 杉 (芯去り材) ・ 図示 (図面番号 :)

4. モルタル塗り

(15. 3. 2)
(15. 3. 5)

材料

・ 現場調査材料 ・ 既調査材料

既製目地材

・ 使用する 図示 (図面番号 :)

床の目地

・ 図示 (図面番号 :)

下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等)

・ 実施する

⑤仕上塗材仕上

(15. 6. 2)
(表15. 6. 1)

種類	呼び名	仕上形状	工法	
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	
	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラック	・ ()	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し	・ 吹付け	
		・ 凸部処理		
		・ 平たん状		
	・ 凹凸状	・ こて		
・ ひき起こし				
・ かき落とし				
・ 外装厚塗材Si	・ 吹放し	・ 凸部処理	・ 吹付け	
				・ 平たん状
				・ 凹凸状
	・ 外装厚塗材E	・ ひき起こし	・ こて	・ ローラー
・ ()	・ ()	・ ()		
複層仕上塗材	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	・ ローラー	
	・ 複層塗材RE			
	・ 防水型複層塗材E			・ 凸部処理
	・ 防水型複層塗材RE			・ 凹凸状
・ ()	・ ()	・ ()		
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付け用軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け	
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて	

内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)

・ JIS A 6909 調湿形

複層仕上塗材の耐水性

・ 耐候形3種 ()

外装厚塗材Cの上塗材

・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 () kg/m²

外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用

・ あり ・ なし

15

左官工事

(表15.6.2.)

複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・ポリウレタン系	・水系	・艶有 ・艶無
	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無

6.マステック塗材塗り(15.7.2.)

(表15.7.1.)

種別 ・A種 ・B種

7.しっくい塗り(15.10.1.)

(15.10.2.)

(15.10.3.)

(15.10.4.)

(表15.10.1.)

(表15.10.2.)

(表15.10.3.)

(表15.10.4.)

(表15.10.5.)

下地 ・標準仕様書[15.10.1] ・()

材料 ・既調合材料(色しっくい ・適用する ・適用しない) ・現場調合材料

調合及び各層の塗厚

せっこうボード下地 ・標準仕様書[表15.10.1] ・()

モルタル塗り下地 ・標準仕様書[表15.10.2] ・()

せっこうラスボード下地 ・製造所仕様による ・()

木ずり下地 ・標準仕様書[表15.10.3] ・()

せっこうプラスター下地、こまい土壁下地 ・標準仕様書[表15.10.4] ・()

その他の下地 ・()

工法 上塗り仕上げ工法 ・押え仕上げ ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ

8.こまい壁塗り(15.11.2.)

(15.11.3.)

(15.11.4.)

(15.11.5.)

(15.11.7.)

(15.11.8.)

(表15.11.2.)

(表15.11.8.)

(表15.11.9.)

のりの種類

土壁用 ・ふのり ・つのまた ・ぎんなんそう

・粉末海藻 ・()

砂壁用 ・ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり

・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・()

色土の種類 土物仕上げ・() ちりじゃくり・()

・大津仕上げ・() ちりじゃくり・()

色砂の種類 ・()

下塗りの割合 ・標準仕様書[表15.11.2] ・()

塗厚 ・標準仕様書[表15.11.8] ・()

耐力壁の指定 ・図示(図面番号:)

工程種別 ・A種 ・B種

9.ロックウール吹付け(15.12.3.)

仕上げ吹付け厚さ () mm

16

建具工事

1.防火戸(16.1.3.)

防火戸の指定 ・図示(図面番号:)

ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・図示(図面番号:)

2.見本の製作等(16.1.4.)

建具見本の製作 ・実施する

特殊な建具の仮組 ・実施する

3.防犯建物部品(16.1.6.)

防犯建物部品 ・図示(図面番号:)

4.7mm鋼製建具(16.2.2.)

(16.2.4.)

(表16.2.1.)

(表16.2.2.)

(表14.2.2.)

(16.2.5.)

外部建具の性能等級等

コンクリート系下地、鉄骨下地

・A種 ・B種 ・C種 ・()

木下地

・D種 ・E種 ・()

表面処理 種別 ・() ・標準色 ・特注色

内部建具

表面処理 種別 ・() ・標準色 ・特注色

5.網戸等(16.2.3.)

(16.3.3.)

(16.3.4.)

(表16.3.1.)

～(表16.3.3.)

形式 ・可動式 ・固定式

防虫網 網の材質 ・合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂

・ステンレス(SUS316) ・()

線径 ・0.25mm以上 ・()

網目 ・16メッシュ ・18メッシュ ・()

6.樹脂製建具(16.3.2.)

(16.3.3.)

(16.3.4.)

(表16.3.1.)

～(表16.3.3.)

外部建具の性能等級等

コンクリート系下地、鉄骨下地

・A種 ・B種 ・C種 ・()

木下地

・D種 ・E種 ・()

建具の遮音性能等級

・T-1 ・T-2 ・()

外部建具の断熱性能等級

・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ・()

外部建具の日射熱取得性能等級 ・()

ガラス ・複層ガラス ・()

建具枠見込み寸法 ・図示(図面番号:)

表面色 ・標準色 ・特注色

水切り板 ぜん板 ・図示(図面番号:)

建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・製造所の仕様による ・()

7.鋼製建具(16.4.2.)

(表16.4.1.)

(表16.2.1.)

(16.4.4.)

(表16.4.2.)

(16.4.6.)

簡易気密型ドアセット ・図示(図面番号:)

外部建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6

耐震ドアの面内変形追随性 ・()等級

防音ドア、防音サッシの遮音性 ・()等級

断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ・()等級

鋼板類の厚さ ・表16.4.2] ・図示(図面番号:)

くつずりの仕上げ ・HL ・()

H>2400mm 又は W>950mm ・図示(図面番号:)

標準型鋼製建具

形式	幅(mm)	高さ(mm)
片開き	・900 ・950	・2000
親子開き	・1200 ・1250	
両開き	・1800 ・1900	・2100

8.鋼製軽量建具(16.5.2.)

(16.5.3.)

(16.5.4.)

(表16.5.1.)

簡易気密型ドアセット ・図示(図面番号:)

耐震ドアの面内変形追随性 ・()等級

防音ドア、防音サッシの遮音性 ・()等級

断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ・()等級

鋼板類の種類 ・図示(図面番号:)

召合せ、縦小口包み板等の材質

・鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出型材

鋼板類の厚さ ・[表16.5.1] ・図示(図面番号:)

H>2400mm 又は W>950mm ・図示(図面番号:)

9.ステンレス製建具(16.6.2.)

(16.6.3.)

(16.6.4.)

(16.6.5.)

(表16.4.1.)

簡易気密型ドアセット ・図示(図面番号:)

外部建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6

防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・()等級

断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・()等級

耐震ドアセットの面内変形追随性 ・()等級

ステンレス鋼板 ・SUS304 ・()

表面仕上げ ・HL ・鏡面仕上げ

・普通曲げ ・角出し曲げ

10.木製建具(16.7.2.)

(16.7.3.)

(表16.7.1.)

(表16.7.2.)

(表16.7.6.)

(表16.7.7.)

建具材の含水率 ・A種 ・B種

フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材

・合板(・普通合板 ・天然木化粧合板 ・特殊加工化粧合板)

・MDF 区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性)

・図面(図面番号:)

(表16.7.3.)

(16.7.4.)

(表16.7.8.)

フラッシュ戸の形状

表面板の厚さ ・標準仕様書[表16.7.6] ・()

引戸の召合わせ ・いんろう付き 図示(図面番号:)

かまち戸 かまち、鏡板の樹種 ・図示(図面番号:)

ふすま 種別 I型 ・II型

上張の種類 ・図示(図面番号:)

縁の仕上げ ・図示(図面番号:)

枠及びくつずりの材料 ・図示(図面番号:)

各木製建具の見込み寸法 ・標準仕様書[表16.7.7] ・図示(図面番号:)

11.建具用金物(16.8.2.)

(表16.8.1.)

(16.8.3.)

(16.8.4.)

(表16.8.2.)

(表16.8.3.)

(表16.8.4.)

(表16.8.5.)

マスターキー ・製作する ・製作しない

・監督員と協議の上システムを決定する

キーボックス ・要 ・不要

鍵の製作本数等 ・3本一組とし、室名札を付ける ・()

金物の種類、見え掛かり部等の材質等

・標準仕様書[表16.8.1] ・図示(図面番号:)

表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について

・図示(図面番号:)

丁番の枚数、大きさ

金属製建具 ・標準仕様書[表16.8.2] ・()

樹脂製建具 ・標準仕様書[表16.8.3] ・()

木製建具 ・標準仕様書[表16.8.4] ・()

戸車、レールの外径等 ・標準仕様書[表16.8.5] ・()

レバーハンドル、クレセント等の取付け位置

・図示(図面番号:)

12.自動ドア開閉装置(16.9.2.)

(表16.9.1.)

(表16.9.2.)

(表16.9.3.)

(表16.9.4.)

駆動装置の性能値

多機能トイレ出入口以外 ・標準仕様書[表16.9.1] ・()

多機能トイレ出入り口 ・標準仕様書[表16.9.2] ・()

検出装置の性能

・標準仕様書[表16.9.3] ・()

18	塗 装 工 事	1. 材料 2. 施工一般 (18. 1. 4) (18. 2. 2) ～(18. 12. 2)	・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） <table><tr><th>下地</th><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th><th>錆止め塗料の種別</th><th>錆止め塗料の塗りの種別</th></tr><tr><td>・木部</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>As種</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>・亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td>・A種 ・B種</td><td>・Az種 ・Bz種</td><td>・A種 ・B種</td></tr></table> ・クリヤラッカー塗り（CL） <table><tr><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th><th>着色の適用</th></tr><tr><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td>・適用しない ・溶剤形ステイン ・オイルステイン</td></tr></table> ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） <table><tr><th>種別</th><th>・A種 ・B種</th></tr></table> ・耐候性塗料塗り（DP）【鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面】 <table><tr><th>下地</th><th>素地ごしらえ</th><th>錆止め塗料の種別</th><th>上塗りの等級</th></tr><tr><td>・鉄鋼面</td><td>B種</td><td>(1回目)Cs種 (2・3回目)Ds種</td><td>・1級 ・2級 ・3級</td></tr><tr><td>・亜鉛めっき鋼面</td><td>・A種 ・B種</td><td>Bz種</td><td>・1級 ・2級 ・3級</td></tr></table> ・耐候性塗料塗り（DP）【コンクリート面、押出成形セメント板面】 <table><tr><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th><th>上塗りの等級</th></tr><tr><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・A種 ・B種</td><td>・1級 ・2級 ・3級</td></tr></table> ・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G） <table><tr><th>下地</th><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th><th>錆止め塗料の種別</th><th>錆止め塗料の塗りの種別</th></tr><tr><td>・モルタル面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・コンクリート面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・せっこうボード面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・木部</td><td></td><td>・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・As種 ・Bs種</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>・亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td>・A種 ・B種</td><td>Cz種</td><td>・A種 ・B種</td></tr></table> ・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） <table><tr><th>下地</th><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th></tr><tr><td>・モルタル面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>・コンクリート面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>・せっこうボード面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td></tr></table> ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） <table><tr><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th><th>着色の適用</th></tr><tr><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td><td>・適用しない ・適用する</td></tr></table>	下地	種別	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の塗りの種別	・木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種			・鉄鋼面	・A種 ・B種	・A種 ・B種 ・C種	As種	・A種 ・B種	・亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種	・Az種 ・Bz種	・A種 ・B種	種別	素地ごしらえ	着色の適用	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・適用しない ・溶剤形ステイン ・オイルステイン	種別	・A種 ・B種	下地	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	上塗りの等級	・鉄鋼面	B種	(1回目)Cs種 (2・3回目)Ds種	・1級 ・2級 ・3級	・亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	Bz種	・1級 ・2級 ・3級	種別	素地ごしらえ	上塗りの等級	・A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種	・1級 ・2級 ・3級	下地	種別	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の塗りの種別	・モルタル面	・A種 ・B種	・A種 ・B種			・コンクリート面	・A種 ・B種	・A種 ・B種			・せっこうボード面	・A種 ・B種	・A種 ・B種			・木部		・A種 ・B種			・鉄鋼面	・A種 ・B種	・A種 ・B種 ・C種	・As種 ・Bs種	・A種 ・B種	・亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種	Cz種	・A種 ・B種	下地	種別	素地ごしらえ	・モルタル面	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・コンクリート面	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・せっこうボード面	・A種 ・B種	・A種 ・B種	種別	素地ごしらえ	着色の適用	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・適用しない ・適用する	・ビグメントステイン塗り ・木材保護塗料塗り（WP） <table><tr><th>種別</th><th>素地ごしらえ</th></tr><tr><td>・A種 ・B種</td><td>・A種 ・B種</td></tr></table>	種別	素地ごしらえ	・A種 ・B種	・A種 ・B種	1. ビニル床シート張り (19. 2. 2) (表19. 2. 1) (19. 2. 3) 2. ビニル床タイル張り (19. 2. 2) (表19. 2. 1) 3. 特殊機能床材 (19. 2. 2) (表19. 2. 2) 4. ビニル幅木 (19. 2. 2) 5. 施工 (19. 2. 3) 6. カーペット敷き (19. 3. 2) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2)	<table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>厚さ(mm)</th><th>継目</th></tr><tr><td>・FS ・()</td><td>・無地 ・柄物</td><td>・2.0 ・()</td><td>・熱溶接 ・突付け</td></tr></table> 接着剤の種別、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・図示（図面番号： ） <table><tr><th>寸法・色合</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・300×300 ()</td><td>・コンポジションビニル床タイル（KT） 半硬質</td><td>・2.0</td></tr><tr><td>・450×450 ()</td><td>・コンポジションビニル床タイル（KT） 軟質</td><td>・()</td></tr><tr><td></td><td>・ホモジニアスピニルタイル</td><td>・()</td></tr></table> 接着剤の種別、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・図示（図面番号： ） ・帯電防止床シート・床タイル 寸法()mm 厚さ()mm 種類() 性能() ・視覚障害者用床タイル 種類(・ビニル床タイル・()) 形状(・300×300・()) ・耐動荷重性床シート 種類() 厚さ()mm ・ゴム床タイル 色柄() 種類() 寸法() 厚さ()mm 接着剤の種別、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・図示（図面番号： ） ・防滑性床シート・床タイル 種類() 寸法() 厚さ()mm 種類 種類 高さ 厚さ ・図示（図面番号： ） ・図示（図面番号： ） ・図示（図面番号： ） ・60mm ・1.5mm以上 下地 種類 ・モルタル ・コンクリート ・セッパレリング ・木下地 ・() 接合部の処理 熱溶接工法 ・() 織りじゅうたん <table><tr><th>種別</th><th>色柄</th><th>パイル形状</th><th>織り方</th></tr><tr><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・無地 ・柄物 (標準品)</td><td>・ループ ・カット ・ループ併用</td><td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td></tr></table> <table><tr><th>種別</th><th>色柄</th><th>パイル形状</th><th>パイル長・寸法・総厚</th><th>工法</th></tr><tr><td>・タフテットカーペット</td><td>・無地 ・柄物</td><td>・ループ ・カット</td><td>パイル長 ・5～7mm ・4～6mm</td><td>・グリッパ ・全面接着</td></tr><tr><td>・タイルカーペット ・1種 ・2種</td><td>・無地 ・柄物</td><td>・ループ ・カット</td><td>総厚さ、サイズ ・6.5mm ・500角</td><td>・全面接着</td></tr></table>	種類	色柄	厚さ(mm)	継目	・FS ・()	・無地 ・柄物	・2.0 ・()	・熱溶接 ・突付け	寸法・色合	種類	厚さ(mm)	・300×300 ()	・コンポジションビニル床タイル（KT） 半硬質	・2.0	・450×450 ()	・コンポジションビニル床タイル（KT） 軟質	・()		・ホモジニアスピニルタイル	・()	種別	色柄	パイル形状	織り方	・A種 ・B種 ・C種	・無地 ・柄物 (標準品)	・ループ ・カット ・ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法	・タフテットカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	パイル長 ・5～7mm ・4～6mm	・グリッパ ・全面接着	・タイルカーペット ・1種 ・2種	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	総厚さ、サイズ ・6.5mm ・500角	・全面接着	・帯電性(人体帯電圧の値3kV以下) タイルカーペットの敷き方（全面接着工法） 平場 市松敷き 模様流し 図示（図面番号： ） 階段部分 市松敷き 模様流し 図示（図面番号： ） 下敷き材 第2種2号、呼び厚さ8mm 図示（図面番号： ） 見切り、押え金物 材質（ ） 種類（ ） 形状（図面番号： ） 織りじゅうたんの接合方法 ヒートボンド工法（ ） ・弾性ウレタン塗床材 仕上げ 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材 工法、仕上げ 薄膜流しのペ工法（平滑 防滑） 厚膜流しのペ工法（平滑 防滑） 樹脂モルタル工法（平滑 防滑） 8. フローリング張り (19. 5. 2) (19. 5. 3) (19. 5. 4) (19. 5. 5) (表19. 5. 2) ～(表19. 5. 6) 材料 単層フローリング （フローリングボード(1等) フローリングブロック(1等)） 複合フローリング 釘留め工法 <table><tr><th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr><tr><td>・フローリングボード (根太張用)</td><td></td><td>・なら ・()</td></tr><tr><td>・複合フローリング (根太張用)</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・なら ・()</td></tr><tr><td>・フローリングボード (直張用)</td><td></td><td>・なら ・()</td></tr><tr><td>・複合フローリング (直張用)</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・なら ・()</td></tr></table> 接着工法 <table><tr><th>材料</th><th>樹種</th><th>厚さ(mm)</th><th>幅・長さ</th><th>裏面不陸緩衝材</th></tr><tr><td>・フローリングボード (直張用)</td><td>・なら ・()</td><td></td><td></td><td>・合成樹脂発泡シート</td></tr><tr><td>・フローリングブロック (直張用)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・複合フローリング (直張用)</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 9. 畳敷き (19. 6. 2) (表19. 6. 1) 種別 種類 厚さ ・A種 ・A種の畳床 ・C種の畳床 ・D種の畳床 ・A種の畳床 ・JS ・C20 ・C25 ・C30 ・PS- ・C70 ・C25 ・C30 ・KT- ・I ・II ・III ・K ・N 衝撃緩和型畳 ・C1 ・C2 10. せっこうボード、 その他のボード 及び合板張り (19. 7. 2) (表19. 7. 1) (19. 7. 3) (表19. 7. 3) (表19. 7. 5) <table><tr><th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td></td><td>壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 天井</td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード</td><td>・トラバーチン模様 ・木目模様</td><td>・9.5(不燃) ・9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧 吸音板</td><td>・普通 ・立体模様</td><td>・9 ・() ・9 ・()</td></tr><tr><td>・けい酸カルシウム板</td><td>・タイプⅡ0.8FK</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table>	材料	種別	樹種	・フローリングボード (根太張用)		・なら ・()	・複合フローリング (根太張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・()	・フローリングボード (直張用)		・なら ・()	・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・()	材料	樹種	厚さ(mm)	幅・長さ	裏面不陸緩衝材	・フローリングボード (直張用)	・なら ・()			・合成樹脂発泡シート	・フローリングブロック (直張用)					・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種				種類	種別	厚さ(mm)	・せっこうボード		壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 天井	・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様 ・木目模様	・9.5(不燃) ・9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)	・ロックウール化粧 吸音板	・普通 ・立体模様	・9 ・() ・9 ・()	・けい酸カルシウム板	・タイプⅡ0.8FK	・()	・()	・()	・()	合板張り ・普通合板 表面の樹種名 ・生地のまま ・（透明塗料塗り）ラワン ・（不透明塗料塗り）しな ・（ ） 板面の品質（ ） 厚さ（ ）mm 防虫処理 防虫処理 ・（ ） ・K1（ラワン材及びびなら材） ・天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・（ ） 厚さ（ ）mm 防虫処理 防虫処理 ・（ ） ・K1（ラワン材及びびなら材） ・特殊加工合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・（ ） 表面性能（ ） 厚さ（ ）mm 防虫処理 防虫処理 ・（ ） ・K1（ラワン材及びびなら材） 天井ボードの重ね張り 図示（図面番号： ） 合板類の張付け 図示（図面番号： ） せっこうボードの目地工法 ・継目処理 ・突付け（ベベルエッジ スクウェアエッジ） ・目透し（ベベルエッジ スクウェアエッジ） 11. 壁紙張り (19. 8. 2) (19. 8. 3) <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能</th><th>品質</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 素地ごしらえ せっこうボード面 木部 コンクリート面 木部 モルタル・せっこうプラスター面 木部 ・A種 ・B種 断熱材打込み工法 断熱材の種類、厚さ 図示（図面番号： ） 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ ・A種1 ・A種1H ・図示（図面番号： ） 断熱材の厚さ 図示（図面番号： ） 20 ユニ ット 及 び そ の 他 工 事 1. フリーアクセス フロア (20. 2. 2) フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、 所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗 ・図示（図面番号： ） 試験方法 20. 2. 2(2) (f) (a) ～ (d) 寸法精度 20. 2. 2(2) (a) (a) ～ (c) 2. 可動間仕切 (20. 2. 3) 組立て方式 ・スタッド式 ・パネル式 ・スタッドパネル式 パネル内建具寸法及び形状 図示（図面番号： ） 構成基材の種類 図示（図面番号： ） 遮音性 図示（図面番号： ） 表面仕上げ 図示（図面番号： ） 3. 移動間仕切 (20. 2. 4) 操作方法 ・手動式 ・電動式 表面材の材質及び仕上げ 図示（図面番号： ） 遮音性 図示（図面番号： ） ハンガーレールの取付け下地の補強 ・標準仕様書[20. 2. 4] (3) (f) 図示（図面番号： ） パネルをランナーに取り付ける部品 ・標準仕様書[20. 2. 4] (3) (g) 図示（図面番号： ） ハンガーレール ・標準仕様書[20. 2. 4] (3) (h) 図示（図面番号： ） ランナー ・標準仕様書[20. 2. 4] (3) (h) 図示（図面番号： ） ハンガーレールの固定方法 溶接 あと施工アンカー（材質： 、寸法： ） 4. トイレブース (20. 2. 5) 表面材 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ・幅木 図示（図面番号： ） 扉小口の材質 ・ステンレス製 ・アルミ製 ドアエッジの材質 ・製造所の仕様による ・（ ）	施工箇所	種類	防火性能	品質				
		下地	種別	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の塗りの種別																																																																																																																																																																																																																	
・木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・鉄鋼面	・A種 ・B種	・A種 ・B種 ・C種	As種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																			
・亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種	・Az種 ・Bz種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																			
種別	素地ごしらえ	着色の適用																																																																																																																																																																																																																					
・A種 ・B種	・A種 ・B種	・適用しない ・溶剤形ステイン ・オイルステイン																																																																																																																																																																																																																					
種別	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																						
下地	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	上塗りの等級																																																																																																																																																																																																																				
・鉄鋼面	B種	(1回目)Cs種 (2・3回目)Ds種	・1級 ・2級 ・3級																																																																																																																																																																																																																				
・亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	Bz種	・1級 ・2級 ・3級																																																																																																																																																																																																																				
種別	素地ごしらえ	上塗りの等級																																																																																																																																																																																																																					
・A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種	・1級 ・2級 ・3級																																																																																																																																																																																																																					
下地	種別	素地ごしらえ	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の塗りの種別																																																																																																																																																																																																																			
・モルタル面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・コンクリート面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・せっこうボード面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・木部		・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・鉄鋼面	・A種 ・B種	・A種 ・B種 ・C種	・As種 ・Bs種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																			
・亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種	Cz種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																			
下地	種別	素地ごしらえ																																																																																																																																																																																																																					
・モルタル面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・コンクリート面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
・せっこうボード面	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																					
種別	素地ごしらえ	着色の適用																																																																																																																																																																																																																					
・A種 ・B種	・A種 ・B種	・適用しない ・適用する																																																																																																																																																																																																																					
種別	素地ごしらえ																																																																																																																																																																																																																						
・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																						
種類	色柄	厚さ(mm)	継目																																																																																																																																																																																																																				
・FS ・()	・無地 ・柄物	・2.0 ・()	・熱溶接 ・突付け																																																																																																																																																																																																																				
寸法・色合	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																					
・300×300 ()	・コンポジションビニル床タイル（KT） 半硬質	・2.0																																																																																																																																																																																																																					
・450×450 ()	・コンポジションビニル床タイル（KT） 軟質	・()																																																																																																																																																																																																																					
	・ホモジニアスピニルタイル	・()																																																																																																																																																																																																																					
種別	色柄	パイル形状	織り方																																																																																																																																																																																																																				
・A種 ・B種 ・C種	・無地 ・柄物 (標準品)	・ループ ・カット ・ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット																																																																																																																																																																																																																				
種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法																																																																																																																																																																																																																			
・タフテットカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	パイル長 ・5～7mm ・4～6mm	・グリッパ ・全面接着																																																																																																																																																																																																																			
・タイルカーペット ・1種 ・2種	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	総厚さ、サイズ ・6.5mm ・500角	・全面接着																																																																																																																																																																																																																			
材料	種別	樹種																																																																																																																																																																																																																					
・フローリングボード (根太張用)		・なら ・()																																																																																																																																																																																																																					
・複合フローリング (根太張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・()																																																																																																																																																																																																																					
・フローリングボード (直張用)		・なら ・()																																																																																																																																																																																																																					
・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・()																																																																																																																																																																																																																					
材料	樹種	厚さ(mm)	幅・長さ	裏面不陸緩衝材																																																																																																																																																																																																																			
・フローリングボード (直張用)	・なら ・()			・合成樹脂発泡シート																																																																																																																																																																																																																			
・フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																																																																																							
・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																						
種類	種別	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																					
・せっこうボード		壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 天井																																																																																																																																																																																																																					
・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様 ・木目模様	・9.5(不燃) ・9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																					
・ロックウール化粧 吸音板	・普通 ・立体模様	・9 ・() ・9 ・()																																																																																																																																																																																																																					
・けい酸カルシウム板	・タイプⅡ0.8FK	・()																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	種類	防火性能	品質																																																																																																																																																																																																																				

5. 手すり (20. 2. 6)	材料の種類 ・アルミ ・ステンレス（仕上げ： ）	21 排水 工事	①排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	排水管用材料 <table><tr><th>材種</th><th>管の種類</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>○硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>VP</td><td>図示</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材種	管の種類	呼び径	備考	○硬質ポリ塩化ビニル管	VP	図示										③アスファルト 舗装 (22. 4. 2)～ (22. 4. 6) (表22. 4. 1)～ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・A-5-15 ・A-3-10 ・ () 平坦性 ○通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・図示（図面番号： ） 再生アスファルトの種類 ・60～80 ・80～100 ○図示（図面番号：C-4） 表層の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・ () 試験 ・アスファルト混合材等の抽出試験	23 植 栽 工 事	1. 植栽地の確認 (23. 1. 3)	試験 ・土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・電気伝導度類(EC)の試験 ・ ()の試験																																										
					材種	管の種類	呼び径	備考																																																											
					○硬質ポリ塩化ビニル管	VP	図示																																																												
					6. 階段滑り止め (20. 2. 7)	材種 ・ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・約35mm ・図示(図面番号：) 工法 ・接着工法 ・埋込み工法	②排水樹等 (21. 2. 1)	○排水樹、ふた 種類等 ○図示(図面番号：) ・側塊の形状、寸法 ・図示（図面番号： ） グレーチングの種類 <table><tr><th>材質</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバーピッチ</th><th>ボルト固定</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定																					④コンクリート 舗装 (22. 5. 2)～ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ○図示(図面番号：C-4) 平坦性 ○通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・図示（図面番号： ） コンクリートの種類 ○普通コンクリート ・図示（図面番号：C-4） 設計基準強度等 ・標準仕様書[表22. 5. 1] ・図示（C-4） 早強セメント ・使用する 注入目地材料 ・低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 ・種類（ ） ・間隔（ ） ○標準仕様書[表22. 5. 3] 目地の構造 ・標準仕様書[図22. 5. 1] ○図示（図面番号：C-4） 平坦性 ○著しい不陸がないこと ・図示（図面番号： ）	2. 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)	植栽基盤整備工法 樹木 ・A種 ・ () 芝及び地被類 ・B種 ・ () 有効土層 面積 ・図示（図面番号： ） 厚さ ・図示（図面番号： ） 排水設備 ・設ける (・暗きよ ・開きよ ・排水層 ・縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・現場発生の良質土 ・客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ ()																														
									材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定																																																						
7. 黒板及び ホワイトボード (20. 2. 9)	黒板の区分 ・焼付け ・ () 黒板の種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ () ホワイトボード ・ () ・図示（図面番号： ）	③地業の材料 (21. 2. 1)	○再生クラッシャーラン ・切込砂利 ・切込碎石 試験 ・砂の粒度試験	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4) (表22. 6. 1)					種類 ・加熱系 構成及び厚さ（ ） 結合材 ・アスファルト ・石油樹脂系（顔料の添加量： ） 添加材 ・着色骨材 ・自然石 ・常温系 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・図示（図面番号： ） 試験 ・アスファルト混合物等の抽出試験	4. 新植樹木の 枯補償 (23. 3. 4)	引渡しの日から ・1年 ・ ()																																																								
												8. 鏡 (20. 2. 10)	厚さ ・5mm ・ ()mm	④埋め戻し土 (21. 2. 1)	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	6. 透水性アス ファルト舗装 (22. 7. 2)(表22. 7. 1)	舗装構成 ・図示（図面番号： ）	7. 屋上緑化 (23. 5. 2) (23. 5. 3) (23. 5. 4) (23. 5. 5)	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示(図面番号：) 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ：) ・板状成形品 植込み用土 ・改良土 ・人工軽量土 樹種・種類、寸法、株立数、刈込み ・図示(図面番号：) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・図示(図面番号：) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・図示(図面番号：) 風圧力に対応した工法（建設告示第1458号） ・図示（図面番号： ） 支柱 ・図示(図面番号：) かん水装置 ・図示(図面番号：) 新植樹木の枯補償期間 ・引渡日から1年間 ・図示（図面番号： ） 芝及び地被類の枯補償期間 ・引渡日から1年間 ・図示（図面番号： ）																																																
																				9. 表示 (20. 2. 11)	室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式等 ・図示（図面番号： ） ・衝突防止表示 図示（図面番号： ） ・非常用進入口表示 図示（図面番号： ）	5. 施工 (21. 2. 2)	場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ステンス製（幅400mm、径22mm） ・鉄製（径22mm、防錆処置済み） ・合成樹脂被膜加工を行ったもの(径19mm) ・図示（図面番号： ） 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・図示（図面番号： ） 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・図示（図面番号： ） 継手 ・接着剤 ・ゴム輪	7. ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3) (表22. 8. 1)	コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材 ・砂 ・空練りモルタル ・図示（図面番号： ） 平坦性 ・平板等の段差3mm以内 ・図示（図面番号： ）	8. 砂利敷き (22. 9. 2) (表22. 9. 1)																																									
																											10. タラップ (20. 2. 12)	材料の種類 ・ステンレス ・ () 仕上げ ・研磨等なし ・ ()	6. 街きよ 緑石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2)	コンクリート緑石、側溝 種類、形状、寸法 ・図示（図面番号： ） 砂利地業 厚さ ・100mm ・図示（図面番号： ）																																					
																															11. 煙突 ライニング (20. 2. 13)	適用安全使用温度 ・ ()℃ 工法 ・図示（図面番号： ）	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)					路床の材料（厚さは図示（図面番号： ）） 遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 (22. 2. 3) 凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・ () フィルター層 ・砂 路床安定処理 ・行う 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号 ・消石灰（ ）号 添加量（ ）kg/m ³ (目標CBR ・5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 C種の場合：建設発生土受入量（ ）m ³ 片道の運搬距離（ ）km 試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験 ・路床締固め度の試験 ・現場CBR試験																													
					12. ブラインド (20. 2. 14)	<table><tr><th>形式</th><th>スラット</th><th>開閉方式</th><th>スラットの成形幅(mm)</th><th>ヘッドボックス・ボトムレールの材質</th></tr><tr><td>・横形 ブラインド</td><td>・アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ギヤ式 ・コード式 ・ ()</td><td>・25 ・ ()</td><td>・鋼製 ・ ()</td></tr><tr><td>・縦形 ブラインド</td><td>・アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ギヤ式 ・コード式 ・ ()</td><td>・80 ・100 ・ ()</td><td></td></tr></table> ※幅、高さの寸法 ・図示（図面番号： ）	形式	スラット																										開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの材質	・横形 ブラインド		・アルミニウム 合金 ・ ()	・ギヤ式 ・コード式 ・ ()	・25 ・ ()	・鋼製 ・ ()	・縦形 ブラインド	・アルミニウム 合金 ・ ()	・ギヤ式 ・コード式 ・ ()	・80 ・100 ・ ()		2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・アスファルト舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・カラー舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・再生クラッシャーラン	・カラー舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン	・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ	・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン	・ ()	・ () ・ ()	
							形式	スラット																										開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの材質																															
							・横形 ブラインド	・アルミニウム 合金 ・ ()																										・ギヤ式 ・コード式 ・ ()	・25 ・ ()	・鋼製 ・ ()																															
							・縦形 ブラインド	・アルミニウム 合金 ・ ()																										・ギヤ式 ・コード式 ・ ()	・80 ・100 ・ ()																																
							舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部																										路盤材料																																	
・アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・再生クラッシャーラン																																																																	
・カラー舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン																																																																	
・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ																																																																	
・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン																																																																	
・ ()	・ () ・ ()																																																																		
13. ロール スクリーン (20. 2. 15)	操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 寸法及び材質 ・図示(図面番号：)	22 舗 装 工 事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料（厚さは図示（図面番号： ）） 遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 (22. 2. 3) 凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・ () フィルター層 ・砂 路床安定処理 ・行う 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号 ・消石灰（ ）号 添加量（ ）kg/m ³ (目標CBR ・5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 C種の場合：建設発生土受入量（ ）m ³ 片道の運搬距離（ ）km 試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験 ・路床締固め度の試験 ・現場CBR試験																																																															
					14. カーテン及び カーテンレール (20. 2. 16)	カーテンの形式等 <table><tr><th>生地</th><th>ひだの種類</th><th>形式</th><th>開閉操作</th></tr><tr><td>・ドレープ ・レース ・図示（ ）</td><td>・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・手引き ・ひも引き ・電動</td></tr><tr><td>・暗幕 (遮光（ ）級)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table> 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり ・300mm以上 ・ () ・図示（図面番号： ） カーテンレール ・アルミ製 ・ステンレス製 強さによる区分 ・10-90 ・ () 形状 ・シングル ・ダブル 断面形状 ・角形 ・C形 ・D形 仕上げ ・アルマイト ・ () 付属金物（フック） ・鋼製 ・樹脂製	生地	ひだの種類	形式	開閉操作	・ドレープ ・レース ・図示（ ）	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・暗幕 (遮光（ ）級)	・ ()	・ ()	・ ()	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・アスファルト舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・カラー舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・再生クラッシャーラン	・カラー舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン	・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ	・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン	・ ()	・ () ・ ()																														
							生地	ひだの種類	形式	開閉操作																																																									
							・ドレープ ・レース ・図示（ ）	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動																																																									
							・暗幕 (遮光（ ）級)	・ ()	・ ()	・ ()																																																									
							舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料																																																										
							・アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・再生クラッシャーラン																																																										
							・カラー舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン																																																										
							・透水性アスファルト舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ																																																										
							・インターロッキング ブロック舗装 ・ () ・ ()	・ () ・ ()	・クラッシャーラン																																																										
・ ()	・ () ・ ()																																																																		
15. プレキャスト コンクリート工事 (20. 3. 2) (20. 3. 3) (20. 3. 4)	補強鉄線の径 ・3. 2mm ・ () 補強鉄線の網目寸法 ・ () 設計基準強度Fc ・図示(図面番号：) 配筋 ・図示(図面番号：) 取付方法 ・図示(図面番号：)	22 舗 装 工 事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料（厚さは図示（図面番号： ）） 遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 (22. 2. 3) 凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・ () フィルター層 ・砂 路床安定処理 ・行う 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号 ・消石灰（ ）号 添加量（ ）kg/m ³ (目標CBR ・5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 C種の場合：建設発生土受入量（ ）m ³ 片道の運搬距離（ ）km 試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験 ・路床締固め度の試験 ・現場CBR試験																																																															
					16. 間知石及び 間知ブロック積 (20. 4. 2) (20. 4. 3)	材種 ・ () 種類及び質量区分 ・図示(図面番号：) 積み方 ・谷積み ・布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・材種（ ） ・厚さ（ ）mm	22 舗 装 工 事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料（厚さは図示（図面番号： ）） 遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 (22. 2. 3) 凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・ () フィルター層 ・砂 路床安定処理 ・行う 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号 ・消石灰（ ）号 添加量（ ）kg/m ³ (目標CBR ・5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 C種の場合：建設発生土受入量（ ）m ³ 片道の運搬距離（ ）km 試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験 ・路床締固め度の試験 ・現場CBR試験																																																										

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

神明追塩室建築工事

2. 工事場所

志摩市阿児町地内

3. 建物概要

追塩室RC造平屋建

延べ面積25.00㎡

用途区分(15)項

＊＊棟＊＊造＊階建

延べ面積＊＊,＊＊,＊＊㎡

用途区分(＊)項

＊＊棟＊＊造＊階建

延べ面積＊＊,＊＊,＊＊㎡

用途区分(＊)項

＊＊棟＊＊造＊階建

延べ面積＊＊,＊＊,＊＊㎡

用途区分(＊)項

4. 工事種目

下記において●印を付した工事を対象とする。

●電力設備

受変電設備

電力貯蔵設備

発電設備

通信・情報設備

中央監視制御設備

医療関係設備

構内配電線路

構内通信線路

その他

II. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

・三重県公共工事共通仕様書(令和6年7月制定版)(令和7年7月一部改定)

・三重県建設工事実務必携(令和7年4月1日版)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築、電気、機械設備工事編 令和7年版)

「公共建築改修工事標準仕様書」(建築、電気、機械設備工事編 令和7年版)

「公共建築設備工事標準図」(電気、機械設備工事編 令和7年版)

・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)

・電気工事業の業務の適正化に関する法律

・電気工事士法

・労働安全衛生法

・消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。)

・電力会社供給約款

・その他関連法令、関連諸基準

III. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項

(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。

(2)設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等により起因する問題点及び疑義、設計図書のとりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督職員と協議すること。

なお、設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。

(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督職員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 技術検査

中間技術検査実施回数(＊)回実施する段階(＊＊＊＊)

3. 火災保険等

三重県建設工事請負契約書第53条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提供しなければならない。

1. 保険の目的物

工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)

2. 保険の加入期間

工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間

3. 保険金額

原則として請負金額に相当する金額

4. 被保険者

発注者、請負者及びその全ての下請負人

4. 足場等

・別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が設置したものは無償で利用できる。

・本工事で設置する。

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)第1編第2章2.2より足場の種別は以下による。

・単管足場

・くさび緊結式足場

・枠組足場

・脚立、可搬式作業台

・移動式足場

・移動式昇降足場

・高所作業車

高さがある箇所で作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

5. 三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

6. 電気工作物の種類

一般電気工作物・自家用電気工作物

7. 電気工事士

電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

9. 電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。

また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者により工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。

21. 施工条件

監督職員及び関係部局と協議調整し決定すること。

(1)施工可能日

・指定なし

一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等)

指定あり

指定日(・施設休業日・打ち合わせ・その他())

(2)施工可能時間帯

・指定なし

一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等)

指定あり

指定時間(・()時～()時・打ち合わせ・その他())

(3)概成工期

・適用する(工事期日より()日前)

適用しない

(4)その他()

22. 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

・試掘調査を実施する(発見された場合、発掘調査等の実施あり)

・発掘調査等の実施あり

23. 部分引渡し等

部分引渡し等がある場合は協力すること。

・部分引渡しあり

部分使用あり

該当部分()

時期()

24. 事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督職員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督職員が指示する期日までに、監督職員に提出しなければならない。なお、事故発生後の措置について監督職員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

25. コプリス・プラスへの登録

請負金額100万円以上の工事について、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬入がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督職員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬入があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、J A C I C が運営する「コプリス・プラス」に登録のうえ、行うこと。

26. 発生材の処理等

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準(建築設備工事は、新築、改修を問わず請負金額1億円)以上の工事である。

分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工種・新築・増築・修繕・模様替・解体・その他()

分別解体の方法・手作業・手作業、機械作業併用

(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督職員の指示による。()

(2)特別管理産業廃棄物

・変圧器

コンデンサ

その他()

現場内の監督職員の指定する場所へ保管するものとする。

なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督職員に報告し対応を協議するものとする。

(3)現場内において再利用を図るもの

・発生土

その他()

(4)再資源化を図るもの

・コンクリート塊

アスファルトコンクリート塊

建設発生木材

()

(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの

・蛍光灯

H I Dランプ(高輝度放電ランプ)

その他()

「水銀廃棄物ガイドライン 第4版」(令和7年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課)に基づき適切に 処理すること。

(6)発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。

また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督職員へ提出すること。

(7)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督職員に報告すること。

27. 電子納品

(1)工事写真

・対象

対象外

監督職員との協議による

(2)工事完成図書

・対象

対象外

監督職員との協議による

28. 官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

・消防設備関係

電気工作物関係

受電関係

通信関係

建設工事関係

その他()

29. 消防法関係の手続き

(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成

・本工事

(・建築工事・電気設備工事・機械設備工事)

別途工事

(2)防火対象物使用開始届出書

書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。

30. 工事用仮設備

構内への設置

・できる(施設管理者と協議)

できない

31. 工事用電力、水、その他

(1)本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。

(2)本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

32. 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について

(1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

(2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

33. 主任技術者又は監理技術者

(1)技術者要件

工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。

(2)専任を要しない期間

1)現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

2)検査終了後の期間

工事完成後検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

34. 工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン」(令和7年7月一部改定三重県県土整備部)による。

三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する基本計画書を発注者に提出し、協議する。

工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

35. 社会保険等未加入対策

(1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。

(2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

36. 現場での安全確保(自主施工の原則)

(1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

(2)設計図面に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督職員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

37. 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第2項の規定が適用される場合、次の工事の受注者を指名する。

・本工事

・別途工事

・建築工事

・機械設備工事

・その他工事

38. 猛暑への対策

・本工事は工期に猛暑による作業不能日数を見込んでいる。

(1)作業不能日数は、環境省が公表する観測地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したものを。

(2)気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する観測地点等における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が(1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

・本工事は、夏休み等の夏季の一定期間に現場施工の一部が必要となるため、猛暑対策を充分講じることにより、現場作業の安全に配慮し、工事を行うこと。

IV. 施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 既設設備等の調査

既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。

(1)地中埋設管路

1)項目

埋設配管

構造物

その他()

2)調査範囲

●埋設ルート

その他()

(2)貫通及びはつり

1)項目

鉄筋

配管

その他()

2)調査範囲

・施工部分

その他()

(3)既設との取合い

1)項目

接続箇所

増設箇所

その他()

2)調査範囲

・施工部分

その他()

2. 施工前の測定等

改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督職員に報告すること。

3. 耐震基準

耐震措置の計算及び施工方法は、次の基準を適用する。

(1)「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部)

(2)「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(一財)日本建築センター)

4. 耐震施工

(1)想定される地震に設備を対応させる。

(2)耐震計算書を監督職員に提出する。

3. 耐震計算書に使用する諸条件は、以下とする。

1)耐震安全性の分類

構造体(Ⅱ)類、建築非構造部材(B)類、建築設備(乙)類

2)機器等の地震力

機器名

設置階(1)、設計標準震度(1.0)、地域係数(1.0)

5. はつり

(1)穴開け及び補修

●なし

あり

(貫通場所及び口径は別図による)

(2)溝はつり及び補修

●なし

あり

(はつり深さは別図による)

6. あと施工アンカー

性能確認試験及び施工確認試験

●行う

行わない

7. 基礎の配線ビット

基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。

8. 配管・配線の耐震処置

建物引込部の配管の耐震処置

建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置

8. 行う

行わない

9. 最上階の埋込配管

最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。

10. 露出配管

(1)雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。

(2)附属品は、ねじ込み形を使用する。

(3)壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。

(4)通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。

(5)監督職員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。

11. 合成樹脂管

(1)合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。

(2)原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)

縮尺：NON

神明追塩室建築工事

令和8年4月1日 改定

電気設備工事 特記仕様書 1

E－O 1

志摩市 上下水道 水道工務課

<p>13 予備配管等</p> <p>(1)埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は（P F 2 2）を1本、5回路以上は（P F 2 2）を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。</p> <p>(2)防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報盤等の間に移報のための空配管を行う。</p> <p>14 金属製電線管等の塗装</p> <p>露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等は、設計図書に塗装指示のある箇所及び建築意匠上必要な箇所について塗装を施す。</p> <p>15 導入線</p> <p>通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線（φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線）を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。</p> <p>16 予備スリーブ</p> <p>梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。</p> <p>17 軽量間仕切のボックス</p> <p>軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。</p> <p>18 プルボックス</p> <p>(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。</p> <p>(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。</p> <p>19 ボルト・ナット類</p> <p>屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの</p> <p>ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>20 環境に配慮した電線類の採用</p> <p>電線、ケーブル及び通信線はEM（エコマテリアル）ケーブルを使用すること。</p> <p>21 ケーブル及び配線</p> <p>(1)表示</p> <p>下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。</p> <p>① ケーブルがスラブを貫通する部分</p> <p>② ケーブル分岐部分</p> <p>③ 変電所内のケーブル引出し部分</p> <p>④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分</p> <p>⑤ 屋内の直線部分は、30mごと</p> <p>⑥ プルボックス内</p> <p>⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと</p> <p>⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分</p> <p>⑨ マンホール及びハンドホールごと</p> <p>(2)ケーブル余長</p> <p>① 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>② 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所</p> <p>2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>② 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所</p> <p>(3)耐候処理</p> <p>高圧引下げケーブルの屋外露出部には高圧絶縁テープを施す。</p> <p>22 配線器具の設置</p> <p>(1)特殊コンセントはプラグ付とする。</p> <p>(2)電源の種類により色を区別する。</p> <p>(3)公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。</p> <p>(4)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。</p> <p>(5)プレートは、図面に特記なき場合は、新金属製とする。</p> <p>(6)カバープレートは、原則として新金属製とする。</p> <p>なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。</p> <p>(7)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p> <p>23 照明器具の設置</p> <p>(1)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。</p> <p>(2)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。</p> <p>(3)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。</p> <p>(4)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>24 照明改修の際の測定</p> <p>対象面の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。</p> <p>測定箇所 (* * * * *) 測定回数 前後各 (*) 回</p> <p>25 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1)図面ホール内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>26 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1)保守点検、防火上必要な空間、維持管理の空間を考慮する。</p> <p>(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。</p> <p>(3)屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。</p> <p>なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。</p> <p>(4)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。</p> <p>(5)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>27 発電設備の燃料配管</p> <p>(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。</p> <p>(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>28 非常放送設備のスピーカ設置</p> <p>(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。</p> <p>(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。</p> <p>(3)増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。</p>	<p>29 土工事</p> <p>(1)埋戻しの材料及び工法</p> <p>① 3種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め)</p> <p>② その他 ()</p> <p>ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。</p> <p>(2)特記なき地中埋設配管の深さは、G Lー600mm以上とする。</p> <p>(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外打基礎、電柱等はつば掘りとする。</p> <p>(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>(5)建設発生土の処理</p> <p>・ 構内敷ならし ・ 処分地指定 ()</p> <p>・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 () km</p> <p>30 ハンドホール、マンホール</p> <p>高さ900mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。</p> <p>なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。</p> <p>31 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。</p> <p>① 建物への引込口及び送出口付近</p> <p>② マンホール・ハンドホール付近</p> <p>③ 地中線路の曲折箇所</p> <p>④ 道路横断箇所</p> <p>⑤ 直線部分では30m程度に1個（30mに満たない部分はその間に1個）</p> <p>V. 機器仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1 電灯設備</p> <p>(1)既設との取り合い</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>● 一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯（単独設置） ● コンセント等</p> <p>分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)一般照明器具</p> <p>① 形式 ・ 公共型 ・ 一般型</p> <p>② 灯具 ・ LED 灯 ・ その他 ()</p> <p>③ 用途 ・ 屋内用 ● 屋外用 ・ 防炎用</p> <p>④ 環境 ・ 普通地域 ・ 塩害地域</p> <p>⑤ 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。</p> <p>1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ</p> <p>・ その他 ()</p> <p>2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON／OFF制御</p> <p>・ その他 ()</p> <p>3) 制御方式 ・ 有線 ・ 無線通信</p> <p>(5)外灯（単独設置）</p> <p>1) 照明用ポール</p> <p>① 材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ</p> <p>・ その他 ()</p> <p>② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。</p> <p>2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ()</p> <p>3) 灯具 ・ LED 灯 ・ その他 ()</p> <p>4) 電源 ・ 商用電源 (60Hz) (・ 200V ・ 100V) ・ その他 ()</p> <p>5) 制御 ・ E E スイッチ ・ タイマ ・ その他 ()</p> <p>6) 接地 ・ 単独接地 (・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用) ・ 共用</p> <p>・ その他 ()</p> <p>(6)コンセント等</p> <p>● 一般型 ● 防水型</p> <p>・ バリケイション付 (・ 固定型 ・ 上下動型(アップ式を含む))</p> <p>① 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>② 図面ホールダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。</p> <p>③ 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。</p> <p>④ 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>⑤ 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>⑥ 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>2. 動力設備</p> <p>(1)既設との取り合い</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機</p> <p>・ その他 ()</p> <p>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p> <p>(6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備</p> <p>(1)避雷針</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機</p> <p>・ その他 ()</p> <p>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p> <p>(6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備</p> <p>(1)避雷針</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機</p> <p>・ その他 ()</p> <p>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p> <p>(6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備</p> <p>(1)避雷針</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機</p> <p>・ その他 ()</p> <p>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p> <p>(6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備</p> <p>(1)避雷針</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ()</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機</p> <p>・ その他 ()</p> <p>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p>
---	---

16. 拡声設備 (1) 機器	・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他 ()
(2) 増幅器	・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用 出力 () W 出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形
(3) 付属機器	・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置 (・CD ・メモリーオーディオ ・その他 ()) ・アナウンスレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマー) ・その他 ()
(4) 操作装置	・有線マイクロホン ・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ラジオチューナー (・FM ・AM) ・その他 ()
(5) スピーカ	・スピーカ切替装置 ・その他の機器 () ・卓型 ・キャビネットトラック型 ・壁掛型 ・その他 () ・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用 結線 ・1W ・3W ・ () W インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()
17. 誘導支援設備 (1) 設備	・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置
(2) 音声誘導装置	1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他 () 2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内 3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他 () 4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他 () 5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () 6) 送信機 ・壁掛型 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () 7) 受信機 ・スピーカ方式 ・イヤホン式 ・その他 ()
(3) インターホン	1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他 () 2) 機能 ・音声通話 ・映像モニタ 3) 通話網 ・親子式 ・相互式 ・複合式 4) 通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 () 5) 機器 ・親機 ・子機 ・その他 () 6) 親機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () ②受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 () 7) 子機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () ②受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()
(4) トイレ等 呼出装置	1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他 () 2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 () 3) 親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 () 4) 呼出スイッチ ・押ボタン式 ・引紐式 ・その他 () 5) 警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()
18. テレビ共同 受信設備 (1) 受信放送	・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 ()
(2) 機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他 ()
(3) アンテナ	1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他 () 2) マスト ・地上波用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・その他 () 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
19. 監視カメラ設備	・仕様詳細は別図による。
20. 駐車場 管制設備	・仕様詳細は別図による。
21. 防犯・入退室 管理設備	・仕様詳細は別図による。
22. 自動火災 報知設備 (1) 機器	・受信機 ・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・光警報装置 ・その他 ()
(2) 受信機	1) 型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型 2) 回線数 ・ () 回線 ・ () アドレス 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 ・複合盤組込 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 () 4) 盤形式
(3) 副受信機 (表示装置)	1) 盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 () 2) 回線数 ・ () 回線 ・ () アドレス 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
(4) 中継器	試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能
(5) 発信機	1) 型式 ・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表 面に「消火栓起動」等の文字を併記する。 3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別添) に組込 ・その他 ()
(6) 感知器	1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・熱感知器 ・空気管式 ・煙感知器 ・炎感知器 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防臭 ・その他 () 1) 機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置 2) 警報装置 ・天井付 ・壁付 3) 同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式
(7) 光警報装置	

23. 自動閉鎖設備	・ 連動制御器	・ 感知器	・ 自動閉鎖装置	・ 自動閉錠装置
(1) 機器	・ その他 ()			
(2) 連動制御器	1) 制御対象	・ 防火戸	・ 防火シャッター	・ 防排煙ダンパー
		・ 非常口等の扉	・ その他 ()	
	2) 回線数	()	回線 (遠方復帰機構 () 回路)	
	3) 設置	・ 単独 (・ 壁掛形	・ 自立形)	・ 火災受信機等との複合盤
(3) 感知器	1) 型式	・ アドレス付	・ 一般型	
	2) 種類	・ 煙感知機 (・ 2 種	・ 3 種)	
	3) 試験機能	・ 自動試験機能	・ 遠隔試験機能	
	4) 機器仕様	・ 一般	・ 防水	・ 防爆
		・ 防食	・ その他 ()	
(4) 自動閉鎖装置	1) 方式	・ 電磁式	・ ラッチ式	・ その他 ()
	2) 施工	・ 本工事	・ 建築工事	・ 電気設備工事
		・ 既設利用	・ その他 ()	
(5) 自動閉錠装置	1) 方式	・ 電気錠	・ その他 ()	
	2) 施工	・ 本工事	・ 建築工事	・ 電気設備工事
		・ 既設利用	・ その他 ()	
24. 非常警報設備	・ 非常放送装置	・ 非常ベル		
(1) 設備	1) 消防法基準適合マーク品とする。			
(2) 非常放送装置	2) 機器	・ 増幅器	・ スピーカ	・ 非常用リモコンマイク
		・ その他 ()		
	3) 増幅器			
	① 出力	() W		
	② 出力インピーダンス	・ Lo 形	・ Hi 形	
	③ 形式	・ ロングラック型	・ スタンダードラック型	・ 壁掛型
		・ その他 ()		
	④ 機能	・ マイク放送	・ 連動放送 (・ 自火報設備	・ 緊急地震速報設備)
		・ その他 ()		
	⑤ 用途	・ 拡声設備兼用	・ 非常放送専用	
	4) スピーカ			
	① 結線	・ 1W	・ 3W	() W
	② インピーダンス	・ Lo 形	・ Hi 形	
	③ 設置場所	・ 屋内	・ 屋外	・ その他 ()
	④ 用途	・ 拡声設備兼用	・ 非常放送専用	
	5) 非常用リモコンマイク			
	型式	・ 壁掛形	・ ラック収納形	・ 卓上形
		・ 起動装置	・ 非常ベル	・ 表示灯
(3) 非常ベル	1) 機器	・ 単独設置	・ 機器收容箱に組込	・ その他 ()
(自動サランを含む)	2) 設置	・ 消火栓ボックス (別途) に組込	・ その他 ()	
25. ガス漏れ火災警報設備	・ 受信機	・ 副受信機	・ 中継器	・ 検知器
(1) 機器	・ その他 ()			
(2) 受信機	1) 回線数	() 回線		
	2) 種類	・ 都市ガス用	・ 液化石油ガス用	
	3) 設置	・ 単独 (・ 壁掛形	・ 自立形)	・ 火災受信機等との複合盤
		・ その他 ()		
(3) 副受信機	設置	・ 単独 (・ 壁掛形	・ 自立形)	・ 火災受信機等との複合盤
		・ その他 ()		
(4) 検知器	1) 動作	・ 単独 (単独動作)	・ 連動 (受信機に伝送)	
	2) 定格電圧	・ AC100V	・ DC24V (受信機等から供給)	
		・ その他 ()		
	3) ガス検知出力信号	・ 有電圧出力方式	・ 無電圧接点方式	
【中央監視・制御設備】	仕様詳細は別紙による。			
【医療関係設備】	仕様詳細は別紙による。			
【構内配電線路】	仕様詳細は別紙による。			
26. 構内配電線路				
① 記線方式	・ 地中線式 (・ 直埋	・ 管路)	・ 架空線式 (・ 直接	・ ちょう架線添架)
	・ 埋設管等添架式 (・ 露出配管	・ 隠蔽配管	・ その他 ()	
	・ その他 ()			
② 建柱	1) 施工	・ 本工事	・ 既設柱利用	・ その他 ()
	2) 電柱	・ コンクリート柱	・ 鋼管柱	・ バンザマスト
		・ その他 ()		
	3) 支持材	・ 根かせ	・ 根はじき	・ 根巻き
		・ 底板		
	4) 装柱材料	・ 支線 (保護ガード	・ 有	・ 無)
	5) 銘板	・ 有	・ 無	
(3) 装柱機器 (高圧用)	1) 機器	・ 開閉器	・ 避雷器	・ カットアウト
		・ その他 ()		
	2) 耐環境性	・ 一般用	・ 耐塩用	
	3) 開閉器	仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。		
④ 装柱機器 (低圧用)	1) 機器	・ 開閉器	・ 開閉器箱	・ 避雷器
		・ カットアウト	・ 碍子	
		・ その他 ()		
	2) 耐環境性	・ 一般用	・ 耐塩用	
	1) 形式	・ ブロック式	・ 現場打ち	
⑤ ハンドホール マンホール	2) 施工	・ 本工事	・ 建築工事	・ 電気設備工事
		・ 既設利用	・ その他 ()	
	3) ケーブル支持金物の取付	・ 2 箇所	・ 4 箇所	() 箇所
	4) 重車両の通行	・ 有 (破壊荷重 200kN 以上、衝撃係数 0.1 (走行速度制限箇所)	・ 無	
⑥ 錆鉄蓋	1) 錆鉄蓋の刻印は「強電」	・ 「電力」又は「高圧」とする。		
	2) 雨水の流れ込みを防止するため防水パッキン付とする。			
⑦ 地中ケーブル 保護材料	1) 種類	・ FEP	・ GLT (PEライニング管)	・ VE
		・ HIVE	・ SGP	
		・ 厚鋼電線管	・ その他 ()	
	2) 標示杭埋設	・ コンクリート製	・ 鉄製 (アスファルト部分)	
	3) 埋設標識シート	・ 2 倍長	・ その他 ()	
	4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。			

【構内通信線路】	
27. 構内通信線路	
(1) 用途	・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他（ ）
(2) 配線方式	・地中線式（直埋 ・管路） ・架空線式（直接 ・ちょう架線添架） ・建築物等添架式（露出配管 ・隠蔽配管 ・その他（ ）） ・その他（ ）
(3) 建柱	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他（ ） 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・バンザマスト ・その他（ ） 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・主線（保護ガード） ・有（無） 4) 装柱材料 ・有（無） 5) 銘板 ・有（無）
(4) ハンドホール マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・（ ）箇所 4) 重車両の通行 ・有（破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1（走行速度制限箇所）） ・無
(5) 鋳鉄蓋	1) 鋳鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(6) 地中ケーブル 保護材料	1) 種類 ・FEP ・GLT（PEライニング管） ・VE ・HVE ・SGP ・厚膜電線管 ・その他（ ） 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製（アスファルト部分） 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他（ ） 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】	
28. 消火器	1) 設置 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事） ・別途工事 2) 消火器 種別（ ）、数量（ ）本 3) 消火器収納箱 材質（ ）、数量（ ）面
⑦ 使用資機材の適用規格 (1) 以下に定めたとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格（JIS規格）適合品の使用を原則とする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 <ul style="list-style-type: none"> ・電気用品安全法適合品 ● 耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル <ul style="list-style-type: none"> ・消防用の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ・第三者認証機関として（一社）日本電線工業会規格（JCS規格）への適合性検査を行い合格したもの ● 非常用照明器具 <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・（一社）日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ● 誘導灯 <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 制御盤 <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）日本配電制御システム工業会規格（JSIA規格）適合品 ・消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（（一財）日本消防設備安全センター（消防用設備等認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ・不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ● 金属閉鎖形スイッチギア <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品 ● 高压機器（遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器） <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品 ● 直流電源装置（防災電源用） <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA蓄電池設備認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 交流無停電電源装置 <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品 ● 自家発電装置（防災電源用） <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（（一社）日本内燃力発電設備協会）の認定を受け、認定証票（長時間形）が貼付されたもの ・自家発電装置（防災電源用でないもの） <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品 ・太陽電池モジュールの支持物 <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備の技術基準の解釈第4条第2項又は第3項の規定に適合するもの ● 電話用設備（電話交換機、電話機等） <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（（一財）電気通信端末機器審査協会（JATE）等）の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ● 非常用放送設備 <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● テレビ共同受信機器 <ul style="list-style-type: none"> ・優良住宅部品（BL部品）の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・（一社）電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ● 自動火災報知設備 <ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの (2) 特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。	

⑦ 使用資機材の製造者

(1) 以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（電気設備機材・機械設備機材）（（一社）公共建築協会 発行）」（以下「評価名簿」という）に記載されている製造者の製品を使用すること。

なお、納入地区に中部地区が含まれ、評価の有効期間内であるものとする。

- LED照明器具（一般屋内用に限る）
- サージ防護デバイス（SPD）
- 盤類
- 絶縁監視装置
- 交流無停電電源装置
- 監視カメラ装置
- 照明制御装置
- 可変速運転用インバータ装置
- 高圧機器
- 蓄電池
- 太陽光発電装置
- 中央監視制御装置

(2) 評価名簿に記載されていない製造者の製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同等の条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。

⑧ 完成時の提出図書

名 称	完成書類	部数
完成図（原図サイズ）	竣工図（製本）	1部
	施工図（製本）	1部
完成図（A3版縮小二つ折り）	竣工図（製本）	2部
	施工図（製本）	2部
完成写真		1部
保全に関する資料 制御システム図 システム系統図 資機材一覧表 機器完成図 取扱説明書 試験結果報告書 工場試験成績書 各種計算・検計書 予備品・付属品一覧表 機器銘板の写し 検査済証 保証書 メンテナンス要領書 メンテナンス参考業者一覧表 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類の写し（表紙のみ） その他監督員の指示するもの	ファイル綴	1部
* 各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。		
工事に関する書類 工事カルテ受領書の写し 施工計画書 施工要領書 部分下請負通知書及び下請負契約書の写し 施工体制台帳及び施工体系図 工事進捗状況報告書 各種計画書及び報告書 排出ガス対策型建設機械使用報告書 工事打合簿 段階確認書 工事事故報告書 安全管理関係書類 使用機材届出書 工事材料搬入報告書 機器明細図 機材の品質及び性能証明書 計測機器類の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 産業廃棄物処理集計表 現場発生品調査 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 再資源化等完了報告書（特定建設資材廃棄物） 工事写真（サムネール及び代表写真） その他監督員の指示するもの	ファイル綴	1部
* 各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。		
官公庁手続き書類 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類（本冊）	ファイル綴	1部
電子納品		3部
工事目的物引渡書 引渡目録		3部

注

- ・完成図はCADにより作成すること。
- ・完成図の作図範囲は設計図面と同程度とする。
- ・改修工事等は既存の完成図面を修正すること。
- ・表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。
- ・保全に関する資料は、国土交通省「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（本編）」及び「同（防災編）」を参照すること。
- ・上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。
- ・その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。
- ・資料は原則チューブファイルに綴じること。
- ・原則として、完成写真はデジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷（A4版用紙に1ページあたり3枚）のうえ、表紙と共に提出すること。撮影箇所は、主要機器類、その他必要な箇所とし、詳細は監督員と協議すること。
- ・完成書類の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲する。
- ・作成しがたい場合は、監督員との協議による。

志摩市 上下水道部 水道工務課	縮尺：NON	神明追塩室建築工事	E-03
	令和7年7月1日 改定	電気設備工事 特記仕様書 3	

[illegible]

●	屋外埋設排水	<input checked="" type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) <input type="checkbox"/> 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。
		<input type="checkbox"/> コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (1) 路用選心力鉄筋コンクリート管
□	消火管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (白) NSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置の地面又はSL、F面より+100立ち上げた所までとする。
□	冷温水配管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 水道用耐熱性硬質塩化ビニルインゴ鋼管 JWNA K 140 (一般: SGP-HVA)
□	冷却水管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 水道用硬質塩化ビニルインゴ鋼管 JWNA K116 (一般: SGP-VA、VB) <input type="checkbox"/> フランジ付硬質塩化ビニルインゴ鋼管 NSP 011 (一般: SGP-FVA、FVB)
●	ドレン管	<input checked="" type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) <input checked="" type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル免治三層管 JIS K 9798 (RF-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VUは屋外露出不可。 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル免治三層管RF-VU) 規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□	冷媒管	銅又は銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。
		※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係示準の規定による。
□	油管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452 溶接接合
□	蒸気管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452 < (往) 溶接 (還) 65A以上: 溶接、50A以下: ねじ >
□	ブライン管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452

※ 弁類 揚水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Kとし、それ以外は5Kとする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔			
鋼管	100A以下	—	2m以下
	125A以上	—	3m以下
ビニル管	80A以下	—	1m以下
耐火二層管	100A以上	—	2m以下
銅管			

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A～100 A	125A～
ビニル管			
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
鋼管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下	吊り間隔 1.5m 以下	※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上	吊り間隔 2.0m 以下	液管の外径を基準とする。

形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

- (2) ダクト工事
- | | |
|-------|---|
| 矩形ダクト | <input type="checkbox"/> 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上 |
| 工法 | <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 JIS G4305 |
| | <input type="checkbox"/> アングルフランジ工法 |
| | <input type="checkbox"/> 共板フランジ工法 |
| 形鋼補強 | <input type="checkbox"/> ライドオンフランジ工法 |
| 丸ダクト | <input type="checkbox"/> 形状鋼 JIS G 3101 <input type="checkbox"/> SUS鋼材 JIS G 4317 |
| | <input type="checkbox"/> スパイラルダクト |
| | <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 (多量管等) JIS K 6741 |

- | | | | |
|---|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 3) 保温塗装工事 | | | |
| イ) 材料 | | | |
| <input type="checkbox"/> グラスウール保温材 保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 10K
(屋内一般等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 消火管(露出部) | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管(往) | <input type="checkbox"/> 蒸気管(還) | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 | <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ロックウール保温材 保温板 JIS A 9504 1号又は2号
(防火区画遮断部) 保温帯、ブラケット JIS A 9504 1号 | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> 消火管 |
| <input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号
(屋内一般等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水管(2~4℃) | | |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 消火管 | | |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種
(露出) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管 | | |
| <input type="checkbox"/> ガス管 | <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管 | | |
| <input type="checkbox"/> ダクト(亜鉛鉄板製) | <input type="checkbox"/> ダクト(銅板製) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 古び止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 | | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管(往) | <input type="checkbox"/> ダクト(銅板製) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)
下塗りは錆止めペイント | | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管(還) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- | | | | | | | | | | |
|---|---|----------|----------------|--------------|--------|-------|--|--|--|
| 2) グラスウール、ロックウール | | | | | | | | | |
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | | | | |
| 給水・排水・ドレン・給湯・膨張・温排水・消火管 | ～80A | 100～150A | — | 200A～ | — | | | | |
| 蒸気管 | ～25A | — | 32～50A | 65A～ | — | | | | |
| 冷水・冷温水・冷媒管 | — | — | ～25A | 32～200A | 250A～ | | | | |
| 3) ポリスチレンフォーム | | | | | | | | | |
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 | | | |
| 給水・消火・排水管 | ～80A | 100A～ | — | — | — | — | | | |
| 冷水・冷温水管 | — | — | ～25A | 32～200A | 250A～ | — | | | |
| 冷水管 (冷水温度2～4℃) | — | — | ～20A | 25A～100A | 125A～ | — | | | |
| ドレン管 | — | — | — | ～25A | 32～80A | 100A～ | | | |
| 4) 機器ダクト保温厚 | | | | | | | | | |
| 保温厚 | | | | | | | | | |
| 25mm | ダクト(屋内露出【機械室、書庫、倉庫】、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ
膨張タンク、銅板製タンク、排気ダクト(隠蔽部【ロックウール】) | | | | | | | | |
| 50mm | ダクト(屋内露出【一般居室、廊下】)、サブライゼーション、貯湯タンク類
冷水・冷温水・温水・暖水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水
・蒸気ヘッド部、排気管隠蔽部(ロックウール) | | | | | | | | |
| 75mm | 煙道(ロックウール) | | | | | | | | |
| 5) 種別 | | | | | | | | | |
| 給排水衛生設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ) | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| 屋内露出 | 保温筒 | 鉄線 | 合成樹脂製カバー | | | | | | |
| 機械室・書庫・倉庫 | 保温筒 | 鉄線 | 原紙 | 7mmφ 52mmφ以上 | | | | | |
| 天井内・P・S内 | アルミガラスクロス化粧保温筒 | 鉄線 | アルミガラスクロス化粧テープ | | | | | | |
| 暗渠内(ビット内) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 着色7mmφ 52mmφ | | | | | |
| 屋外露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板仕上 | | | | | |
| ※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ビット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の保温は消防訂合わせにより決定すること。 | | | | | | | | | |

空調設備配管の保温仕様 (R.6保温材の仕様のみ)				
	1	2	3	4
屋外露出	保温筒	鉄線	R.5リキソワ/6mm	合成樹脂製カバー
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	R.5リキソワ/6mm	アルミガラスクロス仕上
天井内・P.S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	R.5リキソワ/6mm	アルミガラスクロス仕上
暗室内 (ビット内)	保温筒	鉄線	R.5リキソワ/6mm	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	R.5リキソワ/6mm	SUS鋼板仕上

※ 1 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合は保温種別
 □ 機械化錠ケース仕上 □ SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 銅板製タンク 銅板水ヘッダ 温水・配湯・温水 貯留タンク 温水・蒸気ヘッダ 熱交換器	鉄	保温板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー亜鉛鉄板(屋内)
	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー亜鉛鉄板(屋内)	

ダクト・チャンパー、煙道 保温仕様		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー重鉛鉄板	
		機械室				
	屋内隠蔽、D5S		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		保温板	ポリエチレンフォーム	鉄板	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄板	カラー重鉛鉄板	
		機械室				
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
サブライザーチャンパー			保温帯	鉄板	ポリエチレンフォーム	鉄板
						SUS鋼板
消音チャンパー、エルボ			鉄	保温板	ガラスクロス	鉛板またはアルミ・鉛・鉛板・ステンダラ
			鉄	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト 円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道			ブランケット	鉄板	カラー重鉛鉄板	

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
- ※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWAS02による防錆処理を施した平ラテで外面補強したものを使用。
- ※ 3) 銅色金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂鋼管合ベント	1	1	1	下塗りはさび止めベント
黒管	露出	合成樹脂鋼管合ベント	2	1	1	下塗りはさび止めベント

① わじ切りした部分の鉄面は、さび止めベント2回塗りを行う。

- 4) 施工
ダクト保温施工範囲
1. SA
☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
2. EA
☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
3. RA
☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
4. OA
☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 (例) 外壁面から1m程度)
- チャンパー内貼施工
内貼あり (mm) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

- テンパー内貼施工
 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()
 スリーブ工事
 1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径（保温されるものは、保温厚を含む）より40mm程度大（≒サイズUP）なるものとする。
 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板（実管加工）とする。
 2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管（VU）とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
 3. 地中梁以外の梁張り管スリーブは、重鉛鉄板を原則とする。
 4. 柱及び梁以外の箇所では、開口端強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。
 紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に仮枠を除去し得るものとする。

10. 共通事項
 - 1) 陸上ポンプ、送達風機（エアハンド）の電動機は、すべて全閉防滴形とする。
 - 2) 配管途中、変所にフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易に記入。
 - 3) 系統が分るように、必要箇所（機械室、P・S内）に文字書き・矢印記入・バルブ札取付けを行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
 - 4) 機器、配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
 - 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜きを設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
 - 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、設置クラス等を確認すること。また、重量機器にあつては施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
 - 7) 機器、配管の耐震増設及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、工事監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
 - 8) 雨がかり部に取り付けけガリラのチャンバーには、水抜きを設けること。
 - 9) 屋外配管（給水、消火、ガス）には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設槽を施工すること。
 - 10) 冷水及び冷温水の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
 - 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
 - 12) 給排水等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
 - 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・管は継ぎ手の組合わせにより可とう性をたせる。
 - ・接続配管には必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・土間配管は、土間部に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・呼び径100A以上はW10、125A～250AはW12、250A以上はW16のステンレス棒筋を使用する。
 - 14) 屋外露出及び多湿箇所（トレンチット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
 - 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
 - 16) 合成樹脂製バルブの仕上げについては、保護見切り箇所には菊葉の取り付けを行うこと。
 - 17) 送風機用ベルトガードには裏カバー及び点検口を設けること。

分類	資材名	規格等
管	塩化ビニリング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管	「水」マーク表示品
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品
	鋼管	冷媒用 JISマーク表示品 JCQA規格品
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
継手	耐火二層管	国土交通大臣認定品
	ポリエチレン管	JISマーク表示品 日本ポリエチレンバイシステム協会規格品 「水」マーク表示品 建築設備用ポリエチレンバイシステム研究会規格品
	ライニング鋼管継手	管端防食 フランジ JPF規格品 「水」マーク表示品
	鋼管継手	管端防食 フランジ WSP規格品
	ビニル管継手	外面含む JISマーク表示品 JPF規格品 WSP規格品
	鋼管継手	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
弁	鋼管継手	冷媒用 JISマーク表示品 JCQA規格品
	ステンレス鋼管継手	JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品
	耐火二層管継手	国土交通大臣認定品
	伸縮管継手（ベローズ形、スリーブ形）	JISマーク表示品（ベローズ型） SHASE-S表示品（スリーブ型）
	可とう継手	注記④による
	青銅弁・鉄鉄弁 その他弁類	JISマーク表示品 注記④による
保温材	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材	JISマーク表示品
ポンプ類	揚給連心ポンプ （空潤滑、ボイラー給水用、排水用） 水中モーターポンプ （汚水用、雑排水用、汚物用） 立形連心ポンプ（ボイラー給水用、排水用）	設備機材等評価名簿による。
電動機	電動機	注記④による
衛生器具	衛生陶器・水栓 衛生器具ユニット	JISマーク表示品 設備機材等評価名簿による。
タンク	円形鋼製（ネルタンク） 円形鋼製（ネルタンク）（空潤滑・給湯用） ステンレス鋼板製（溶接組立形） ステンレス鋼板製（溶接組立形）	設備機材等評価名簿による。
樹	樹類	公園型 注記④による
	塩ビ樹	（公社）日本下水道協会、プラステック・タマホウ協会 規格対象品又は準拠品
鉄鉄製品	排水金物	JCW規格品
	鉄鉄製ふた	マンホールふた 井枠ふた 設備機材等評価名簿による。
量水器	量水器	注記④による
ガス器具	ガス配管器具	注記④による
	ガス給湯器	都市ガス 液化石油ガス ガス供給者の承認する製造者の製品 「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき省令による証票を付したものの 注記④による
ガス管帽	ガス管帽システム	注記④による
厨房機器	厨房システム	設備機材等評価名簿による。

濾過装置		注記④による
減圧機		注記④による
消火装置	消火栓類	注記④による
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー消火システム	設備機材等評価名簿による。
	不活性ガス消火システム	
	泡消火システム	
	ハロゲン化物消火システム	
浄化槽	合併浄化槽	RC造
		FRP
簡易水洗	クリーントイレ	注記④による
フロア		注記④による
阻集器	グリス・ガソリントラップ	注記④による
特殊ガス	特殊ガス設備	注記④による
計測機器		注記④による
化学実験装置		注記④による
製缶類	製缶類・熱交換	注記④による
温水発生機	真空式温水発生機（銅製・鉄鉄製）	設備機材等評価名簿による。
	無圧式温水発生機（銅製・鉄鉄製）	
	電気温水器	注記④による
ボイラー	鋼製簡易ボイラー及び簡易貫流ボイラー	設備機材等評価名簿による。
	鉄鉄製ボイラー及び鉄鉄製簡易ボイラー	
	鋼製小型ボイラー及び小型貫流ボイラー	
	鋼製ボイラー	
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	設備機材等評価名簿による。
	吸収冷凍温水機	
	吸収冷凍温水機ユニット	
	遠心冷凍機	
空気調和機	ユニット形空気調和機	設備機材等評価名簿による。
	ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット	
	コンパクト形空気調和機	
	パッケージ形空気調和機	
	マルチパッケージ形空気調和機	
	ガス「V」型「V」型空気調和機	
冷却塔	冷却塔	設備機材等評価名簿による。
防振装置	防振材・防振装置	注記④による
加湿器		注記④による
送風機類	遠心送風機（多翼形送風機）	設備機材等評価名簿による。
	斜流送風機	
	軸流送風機	
	消音ボックス付送風機	
換気扇	換気扇類	注記④による
全熱交換器	全熱交換器（回転形、静止形）	設備機材等評価名簿による。
	全熱交換ユニット	
空気清浄装置	271444（バババ形、折込み形）	設備機材等評価名簿による。
	自動巻取形エアフィルター	
	電気集じん器（自動巻取形、バババ形）	
ダクト	吹出口・吸込口	設備機材等評価名簿による。
附属品	風量ユニット（定風量、変風量）	
ダクト	亜鉛板	JIS規格品
	ステンレス鋼板	JIS規格品
	スパイラルダクト	注記④による
	フレキシダクト	注記④による
自動制御	自動制御システム	設備機材等評価名簿による。

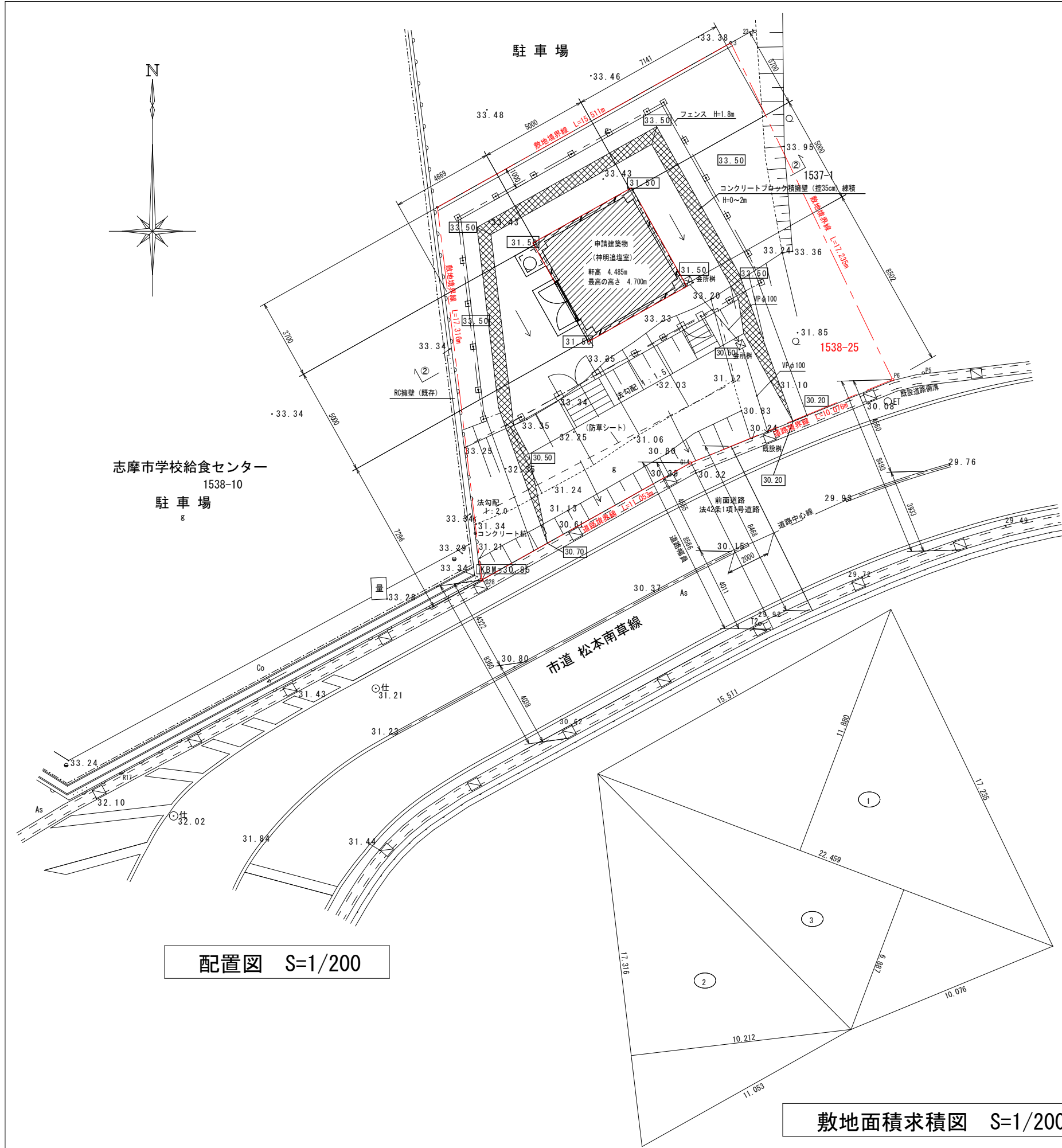
【注記】

① JISマーク、マーク(JIWA:日本水道協会規格)、WSP(日本水道管協会規格)、SHASES(空気調和・衛生工学会規格)、JPF(日本環境衛生協会規格)、SAS(ステンレス協会規格)、JCDA(日本銅センター規格)、JOC(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格)の番号については、「公建築工事標準仕様書(機械設備工事)」において、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事)」に規則。

② JISマーク表示と指定された資材は、工業標準化法に基づく規則に基づき、製品・包装の外表面、容器の外表面、結束帯等との納品書にJISマーク表示のあるものとす。

③ 設備機材等評価品名とは、「建築材料・設備機材品質性能評価委員会事業設備等評価品名表(最新版)」をいう。但し、評価品名による場合、納入地区及びプアターサービス地区に中部地区が含まれており、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

④ 官庁に納入実績があるメーカー又は同等品以上とする。



地名地番：三重県志摩市阿児町神明1538-25

付近見取図 S=1/5000

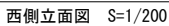
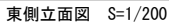
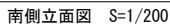
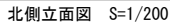
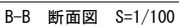
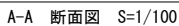
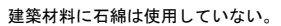
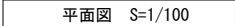
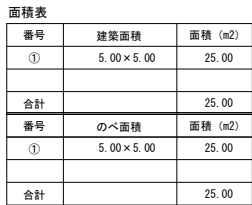
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	22.459	11.880	266.812920	133.4064600
2	17.316	10.212	176.830992	88.4154960
3	22.459	6.887	154.675133	77.3375665
合 計				299.1595225
敷地面積				299.15 m ²

「盛土規制法に係る造成工事はない」

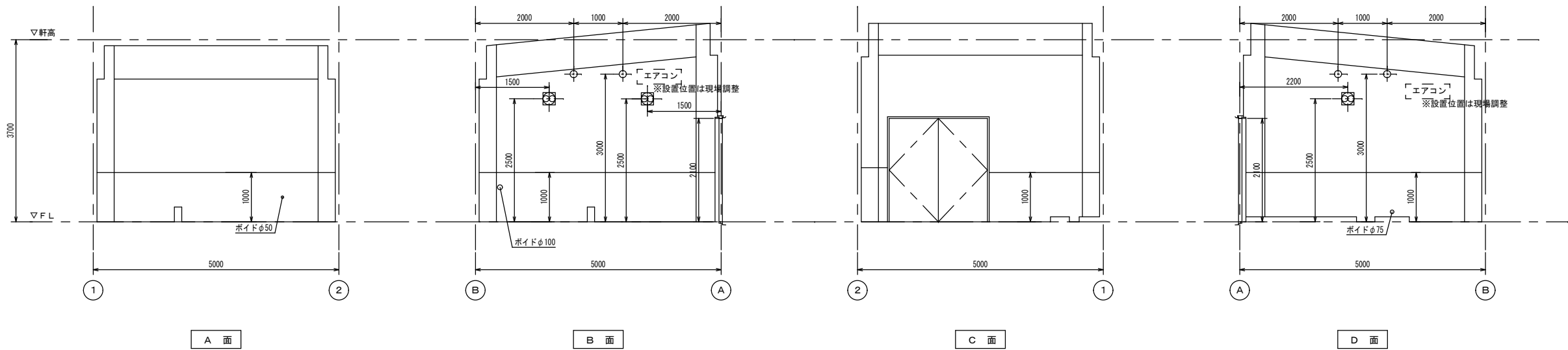
敷地面積求積図 S=1/200

工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	配置図・付近見取図・敷地面積求積図		
縮 尺	1/200、1/5000	図面番号	A-11
志摩市 上下水道部			

工事名称	神明追塩施設建築工事
建築場所	志摩市 阿児町 地内
用 途	水道施設
規 模	平屋建て 床面積 25.00 M ² 建築面積 25.00 M ² 軒高 4.485 M
構 造	鉄筋コンクリート造
基 礎	鉄筋コンクリート造 独立基礎
屋 根	パーライトモルタル（スカイモル同等品） t=40 下地 アスファルトルーフィング 940 ガルバリウム鋼板縦置き t=0.4（1寸勾配） 棟包み、ケラバ、軒先水切ガルバリウム鋼板
軒 裏	軒天：コンクリート打ち出し 下地調整の上 R E吹付け
外 壁	コンクリート打ちし 下地調整の上 R E吹付け 化粧目地
根 廻り	コンクリート打ちし 下地調整の上 モルタル塗り H=300
建 具	ステンレス製ドア一見込 100m/m
	建具廻りシーリング（2成分系シリコン）
樋	軒樋：塩ビ製角形 120前高型 堅樋：塩ビ製 VP 呼び径75
ポ ー チ	モルタル金こて押え目地切仕上げ
そ の 他	丸型換気ガラリ 防虫網付き SUS製 φ150、ハンドホール蓋φ600（鋳鉄製簡易密閉型） アルミ製庇 会所掛

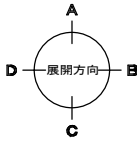


工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	設計概算・仕上表・面積表 平面図・屋根伏図・断面図・立面図		
縮 尺	1/100, 1/200	図面番号	A-12
志摩市 上下水道部			



展開図 S=1/50

部屋名	追塩室
床	コンクリート金こて押えの上 耐薬品塗床仕上
巾木	—
壁	コンクリート打放し (B種)
腰	コンクリート打放しの上 耐薬品塗装
天井	軽量骨材吹付 t=5
廻縁	—
備考	

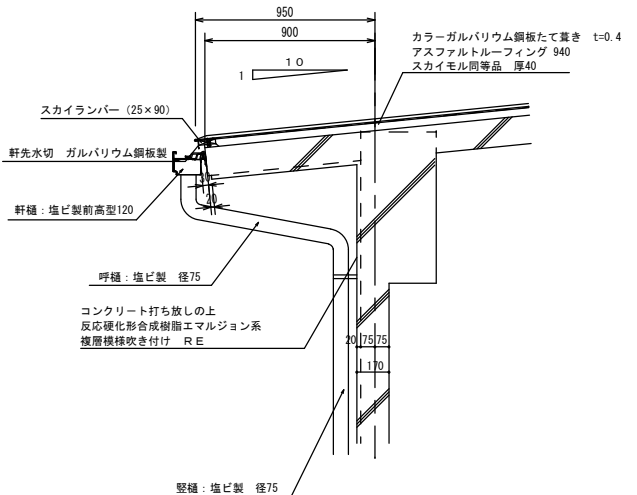
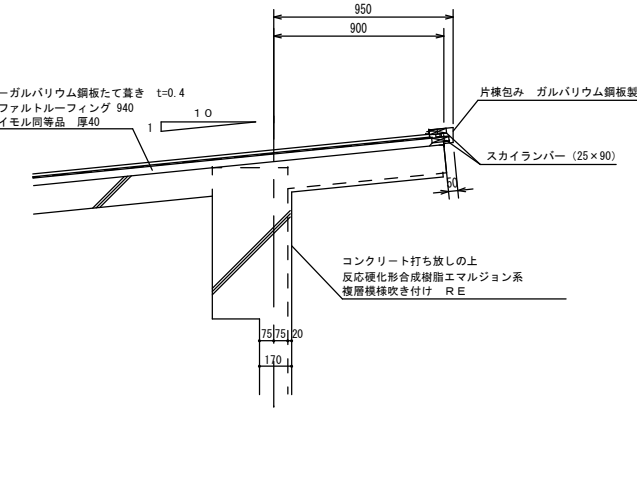
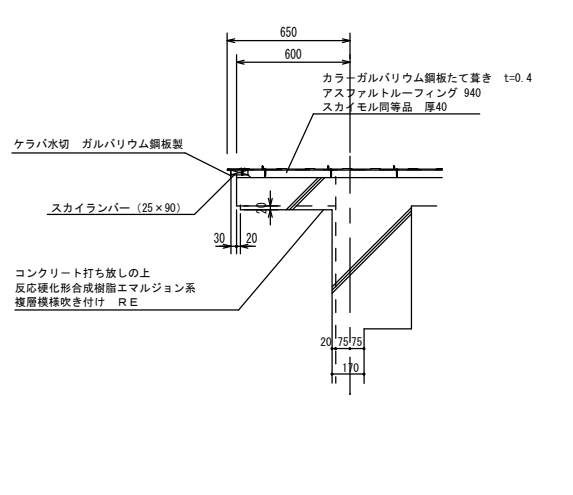
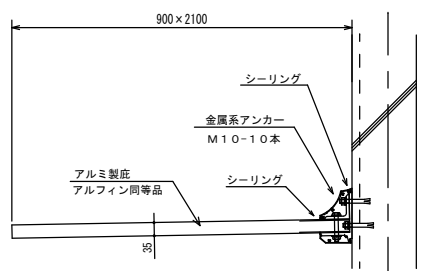
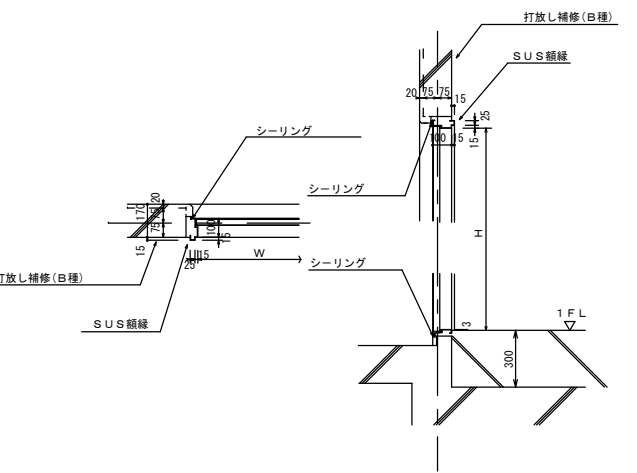
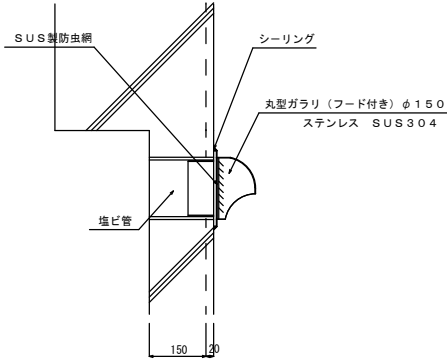
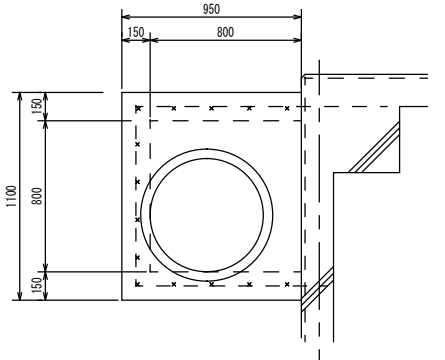
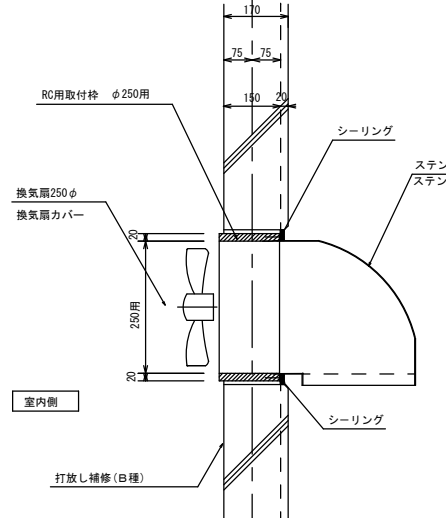
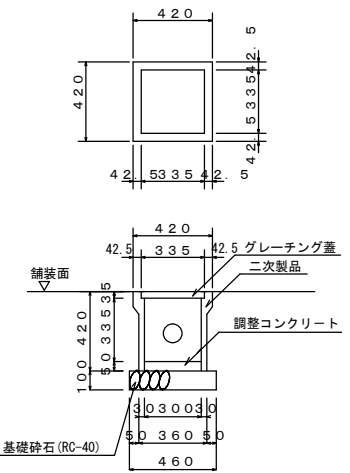
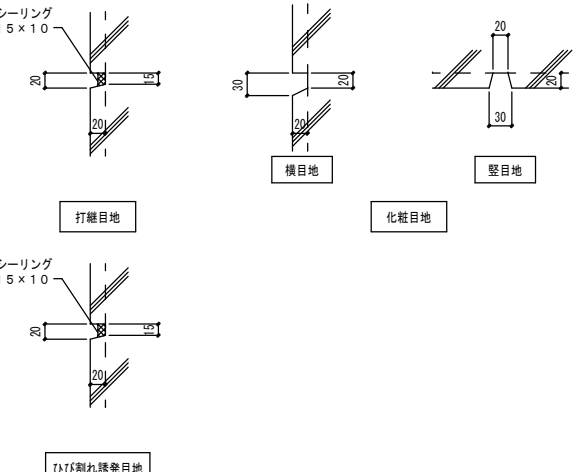
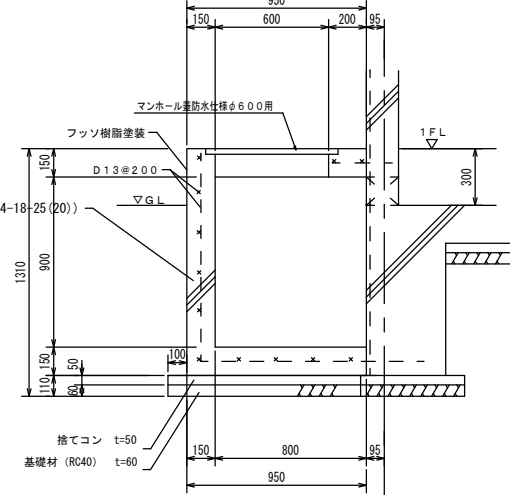


建具表 S=1/50

符号	数量	1
形状		
部屋名	追塩室	
型式	開閉きステンレス製フラッシュドアー	
見込	100mm	
仕上	HL	
ガラス		
金物	シリンダー錠、丁番、ドアチェック、レバーハンドル ステンレス番指、額縁、フランシ落し	
備考		

A3 : A1 × 50.0% (A1からA3縮小)

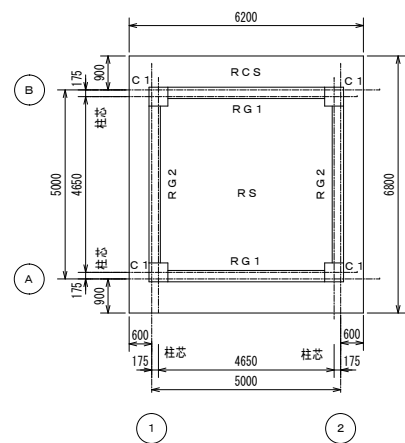
工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	展開図、建具表		
縮尺	1/50	図面番号	A-13
志摩市上下水道部			

<p>軒先部分詳細図 1/20</p> 	<p>棟部分詳細図 1/20</p> 	<p>ケラバ部分詳細図 1/20</p> 	<p>アルミ庇詳細図 1/10</p> 																
<p>ステンレス製ドア廻り詳細図 1/20</p>  <p>特記事項</p> <p>建具廻りシーリングは特記なき限り変成シリコン(MS-2)とする</p>	<p>換気孔詳細図 1/10</p> 	<p>ハンドホール詳細図 1/20</p> 	<p>換気扇枠廻り詳細図 1/10</p> 																
<p>会所柵 1/20</p> 	<p>目地 1/5</p> <p>注) シーリング種別は、シーリング表面仕上により次による</p> <ul style="list-style-type: none">・仕上なし ポリサルファイド系シーリング・仕上あり ポリウレタン系シーリング 		<p>A3 : A1×50.0% (A1からA3縮小)</p> <table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">神明追塩施設建築工事</td></tr><tr><td>施工箇所名</td><td colspan="3">志摩市 阿児町 地内</td></tr><tr><td>図面の種類</td><td colspan="3">部分詳細図</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>図示</td><td>図面番号</td><td>A-14</td></tr></table> <p>志摩市上下水道部</p>	工事名	神明追塩施設建築工事			施工箇所名	志摩市 阿児町 地内			図面の種類	部分詳細図			縮 尺	図示	図面番号	A-14
工事名	神明追塩施設建築工事																		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内																		
図面の種類	部分詳細図																		
縮 尺	図示	図面番号	A-14																

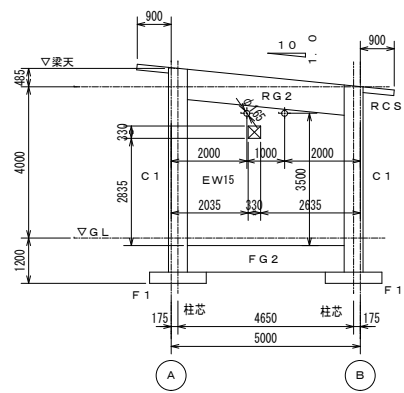
<p>4-5</p> <p>小梁及び片持梁</p> <p>a) 小梁 継手</p>	<p>不連続端（外端） $L0/6$ $L0$ $L1$ 連続端（内端）</p> <p>・ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は、梁面より500以上なすこと。</p>
<p>定着</p> <p>b) 片持梁 定着 継手</p>	<p>10d 以上 $L2$ $L0/4$ D' 以上 C D' 以上 D</p> <p>不連続端（外端） $L0/6$ $L0$ $L3$ 連続端（内端）</p> <p>・ 下端筋は水平定着で可。上端筋には継手を設けてはならない。</p>
<p>4-6</p> <p>基礎梁及び基礎小梁</p>	<p>（※地反力を受ける梁は設計図に示す。）</p>
<p>a) 基礎梁の継手 及び定着</p>	<p>① 地反力を受けなく、床などの上積載荷重を受ける場合は（4-1）（4-2）による。 ただし、余長は $\{L1, 2\min(D', L2)\}$ とする。</p> <p>② 地反力及び上積載荷重を受けない場合。</p> <p>③ 地反力（又は杭反力）を受ける場合。</p> <p>※ 設計者の判断による。</p>
<p>b) 基礎小梁の継手 及び定着</p>	<p>① 地反力を受けない場合は（4-5）による。</p> <p>② 地反力を受ける場合。</p> <p>・ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面（基礎小梁の場合は梁面）より500以上はなすこと。</p>
<p>4-7</p> <p>梁の貫通補強</p>	<p>1) 補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。</p> <p>2) 認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。</p> <p>あばら筋と同径、同数で$\phi 100$以下とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。 ・ 孔が複数の場合は、中心間隔を径（ϕ）の3倍以上とする。また位置は原則として柱面から梁成D以上離し、梁成中央D/2の範囲内とする。 ・ 孔が100かつD/8未満のとき、補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。 ・ ※縦筋はあばら筋加工とする。

工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		
縮 尺	NO SCALE	図面番号	A-16

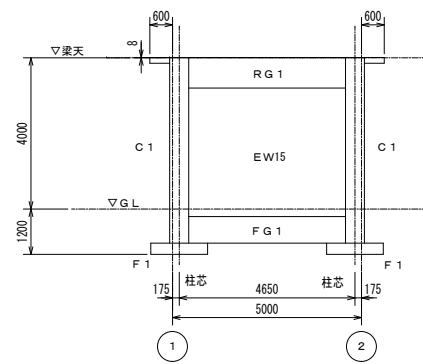
志摩市上下水道部



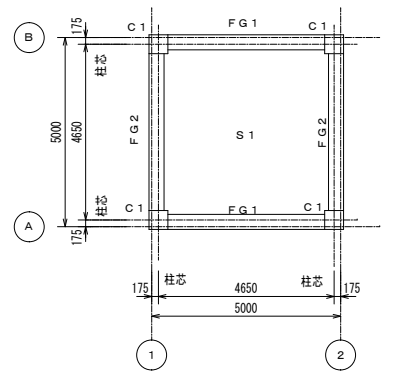
R 階 伏 図



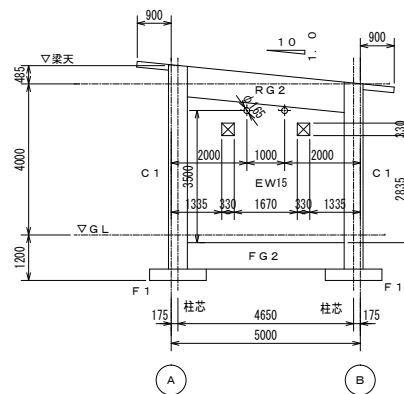
2 通 軸 組 図



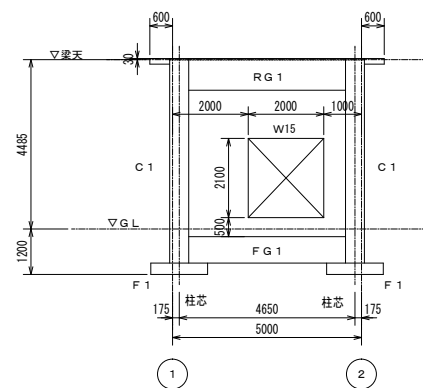
B 通 軸 組 図



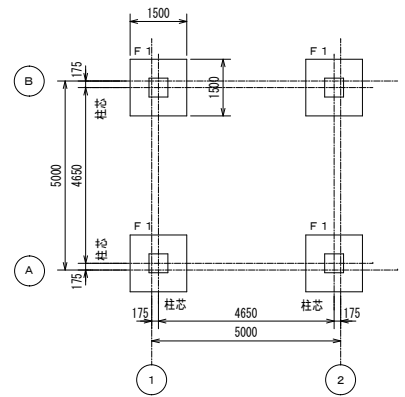
1 階 伏 図



1 通 軸 組 図



A 通 軸 組 図



基 礎 伏 図

コンクリート Fc24 基礎・躯体
Fc18 床 C.o.
鉄 筋 SD345 D19以上
SD295 D16以下
注記) D 1 9 以上はガス圧接継手として可とする。

A3 : A1×50.0% (A1からA3縮小)

工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	伏図・軸組図		
縮 尺	1/100	図面番号	A-17
志摩市上下水道部			

柱リスト S=1/30

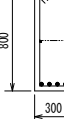
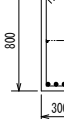
階	符号	C1
1F	断面	
	B × D	500 x 500
	主筋	12-D19
	フープ	□-D10-#100
	備考	

地中梁リスト S=1/30

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
B × D	400 x 700	400 x 700
上端筋	4-D19	4-D19
下端筋	4-D19	4-D19
S T P	□-D10#150	□-D10#150
腹筋	2-D10	2-D10
備考		

幅止め筋は D10-#1,000 とする

大梁リスト S=1/30

階	符号	RG1	RG2
	位置	全断面	全断面
RF	断面		
	B × D	300x800	300x800
	上端筋	4-D19	4-D19
	下端筋	4-D19	4-D19
	S T P	□-D10#150	□-D10#150
	腹筋	2-D10	2-D10
	備考		

幅止め筋は D10-#1,000 とする

壁リスト S=1/30

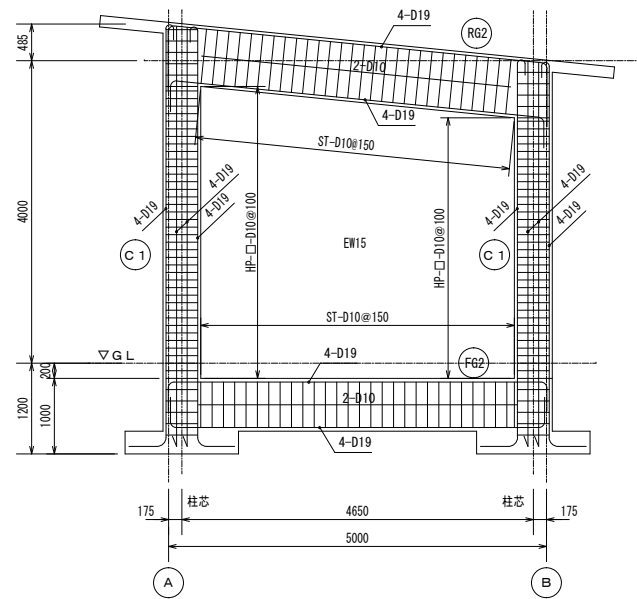
符号	EW15	W15	開口部補強筋
断面			
壁厚	150	150	
縦筋	D10-#100	D10-#100	
横筋	D10-#100	D10-#100	
開口部	縦横筋	2-D13	
	斜め筋	1-D13	
幅止め筋			
備考			

床 リスト

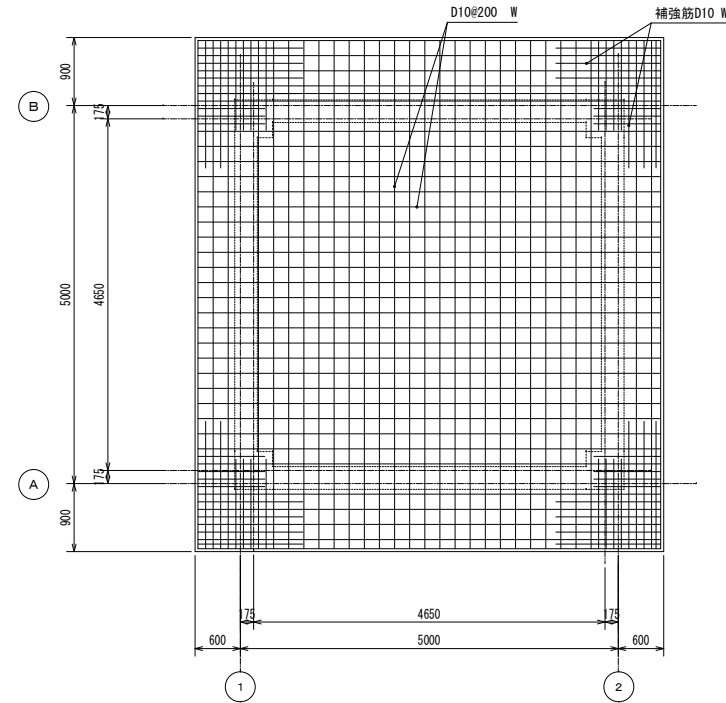
符 号	厚 さ	位 置	短辺方向配筋	長辺方向配筋
			全域	全域
R S	1 5 0	上	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0
		下	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0
S 1	2 0 0	上	D 1 3 @ 1 5 0	D 1 3 @ 1 5 0
		下	D 1 3 @ 1 5 0	D 1 3 @ 1 5 0
R C S	1 5 0	上	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0
		下	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0

A3: A1 × 50.0% (A1からA3縮小)

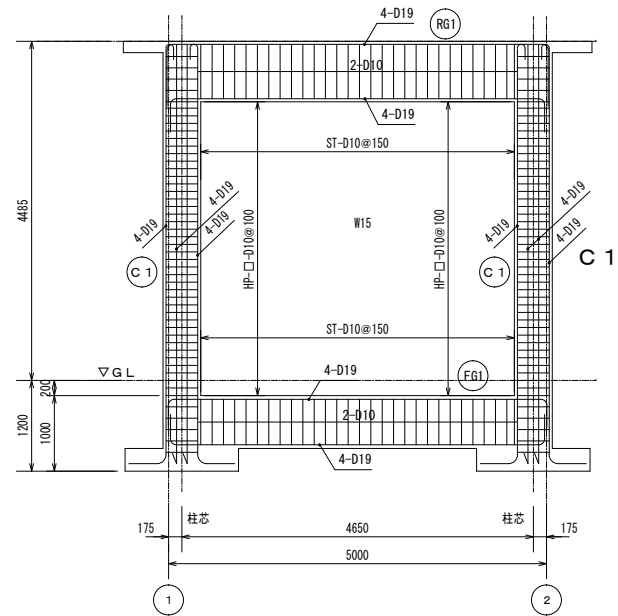
工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	部材リスト		
縮 尺	1/30	図面番号	A-18
志摩市上下水道部			



1 通り 架構図



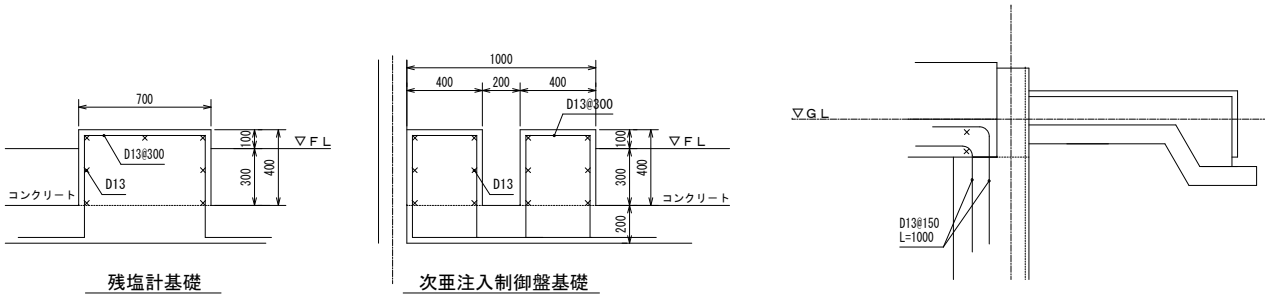
屋根版配筋図



A 通り 架構図

A3 : A1×50.0% (A1からA3縮小)

工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	架構図		
縮 尺	1/50	図面番号	A-19
志摩市上下水道部			

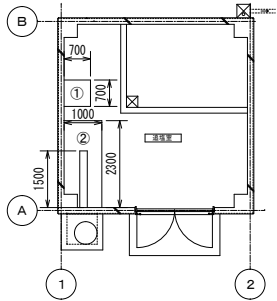


機 械 基 礎 S=1/20

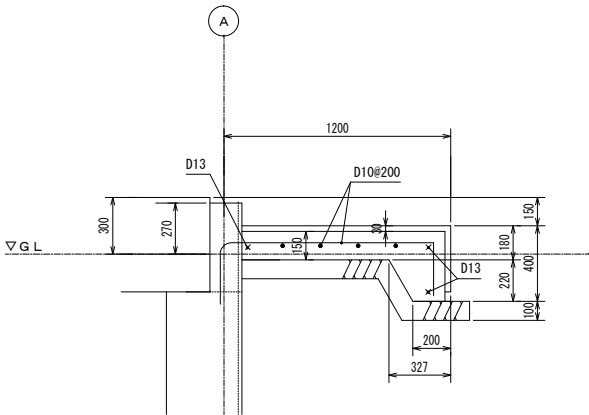
土間補強 S=1/20

機械基礎寸法表

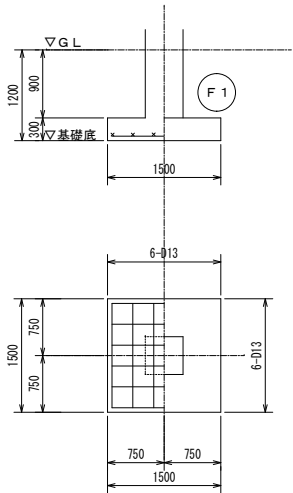
番号	機械基礎名	寸法 (mm)	個数	FL+
①	残塩計	W700×L700×H400	1	100
②	次垂注入制御盤	W1000×L2300×H400	1	100



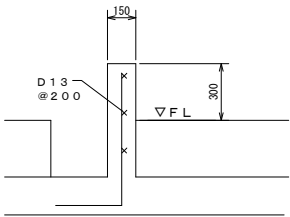
機械基礎配置図 S=1/100



ポ ー チ S=1/20



基 礎 配 筋 図 S=1/50



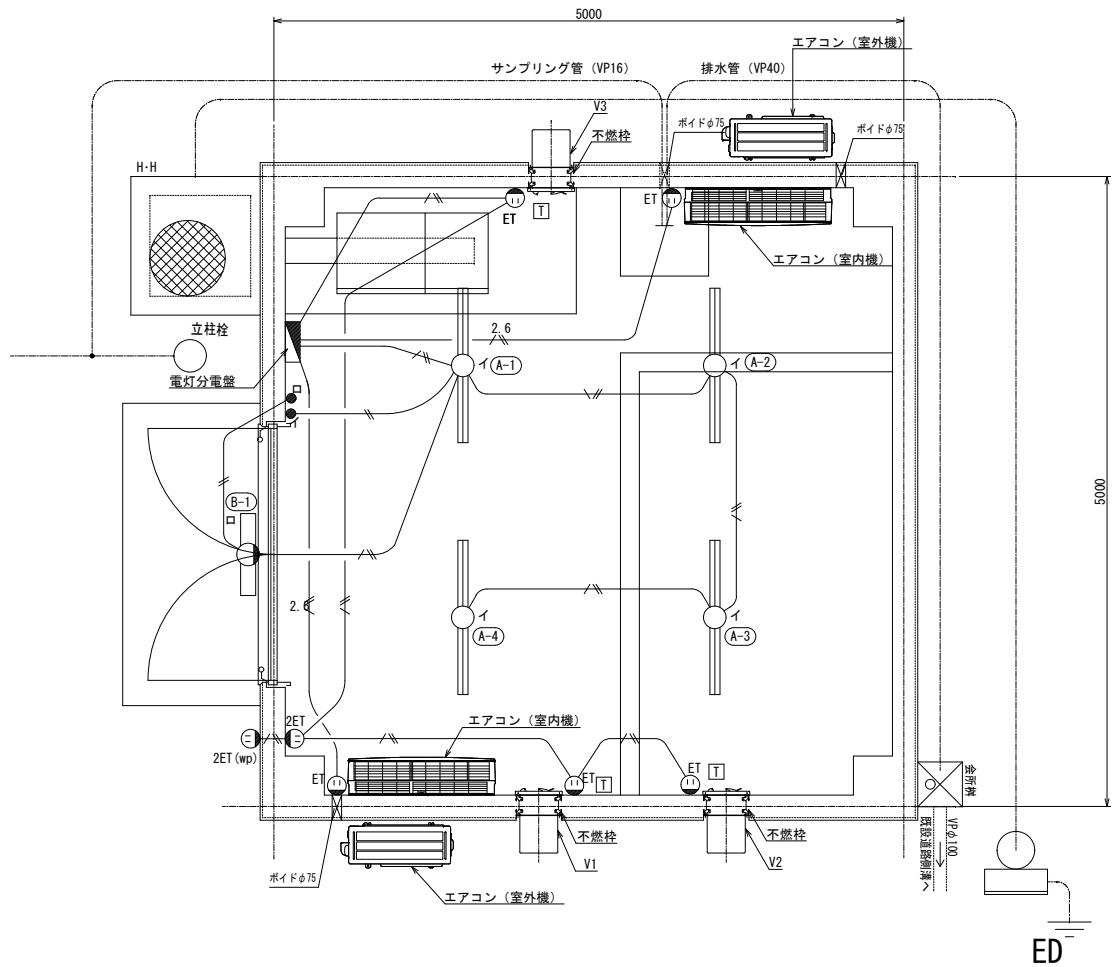
防 液 堤 S=1/20

A3:A1×50.0% (A1からA3縮小)

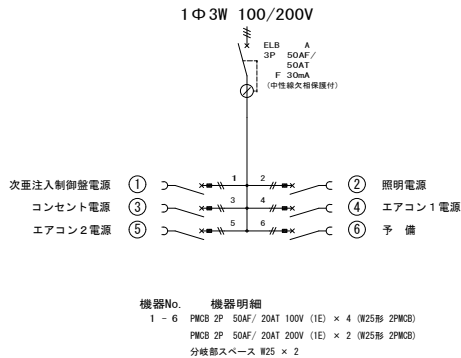
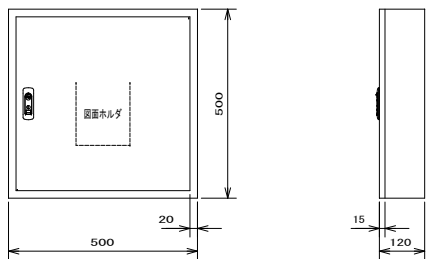
工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	構造詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	A-20
志摩市上下水道部			

建築付帯電気設備図 S=1/30

平面図



電灯分電盤外形図 S=1/10



照明器具姿図

ステンレス製		ステンレス製 防雨型	
パナソニック 直付XLW453DENZLE9 (相当)		パナソニック NNF521870C LE9 (相当)	
A	FL32形×2灯相当 (5200LM)	B	FL20形×1灯相当 (1390LM)

凡例

※ 記入なき配線は下記による

	EM-EEF 2.0-3c (PF-D16)
	EM-EEF 2.0-2c (PF-D16)
	EM-EEF 2.6-3c (PF-D22)

※ 配線は埋込とする。

※ 記入なき器具は下記による

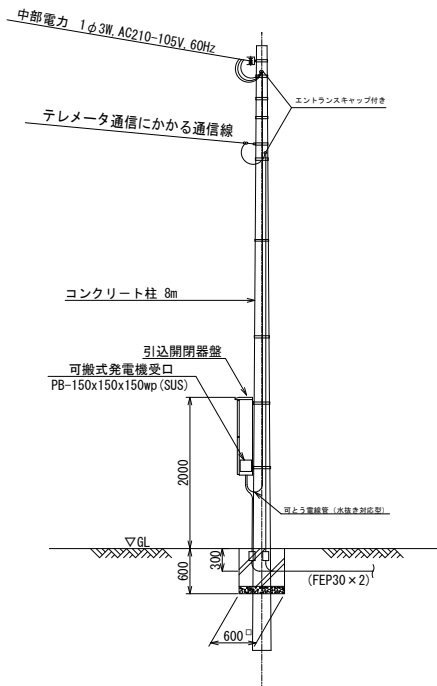
●	片切 埋込スイッチ	(新金属プレート)
ⓔ	1口 埋込コンセント	(接地端子付き) (新金属プレート)
ⓓ	2口 埋込コンセント	(接地端子付き) (新金属プレート)
ⓓ	2ET (wp)2口 防水埋込コンセント	(接地端子付き)
T	換気扇用温度スイッチ	(コンセント形)

V1・V2 :	有圧換気扇
	φ250 風圧シャッタ (SUS) 付
	ウェザーカバー (SUS) ・防虫網 (SUS)

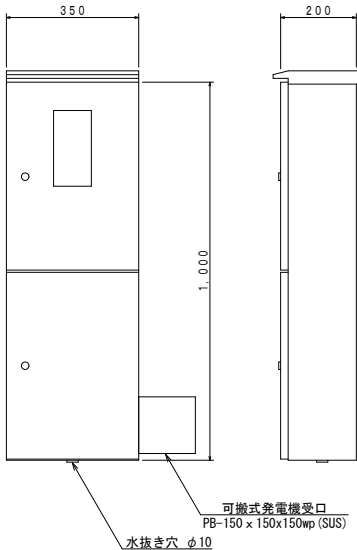
V3 :	有圧換気扇
	φ250 風圧シャッタ (SUS) 付
	ウェザーカバー (SUS) ・防虫網 (SUS)

エアコン :	店舗・事務所用パッケージエアコン (耐塩害仕様) 単相200V×2台
	5.6kW (定格冷房標準能力)
	6.3kW (定格暖房標準能力)

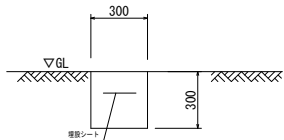
装柱図
S=1/50



引込開閉器盤
S=1/10



電路掘削断面図 (A-A断面)
S=1/20



延長数量 : 14.0m

A3 : A1×50.0% (A1からA3縮小)

工事名	神明追塩施設建築工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町 地内		
図面の種類	建築付帯電気設備図		
縮 尺	1/30	図面番号	A-21
志摩市上下水道部			